

データヘルス計画（第2期） 年次報告書

[令和3年度]

最終更新日：令和4年06月30日

アドバンテスト健康保険組合

STEP 1-1 基本情報

組合コード	28501
組合名称	アドバンテスト健康保険組合
形態	単一
業種	機械器具製造業

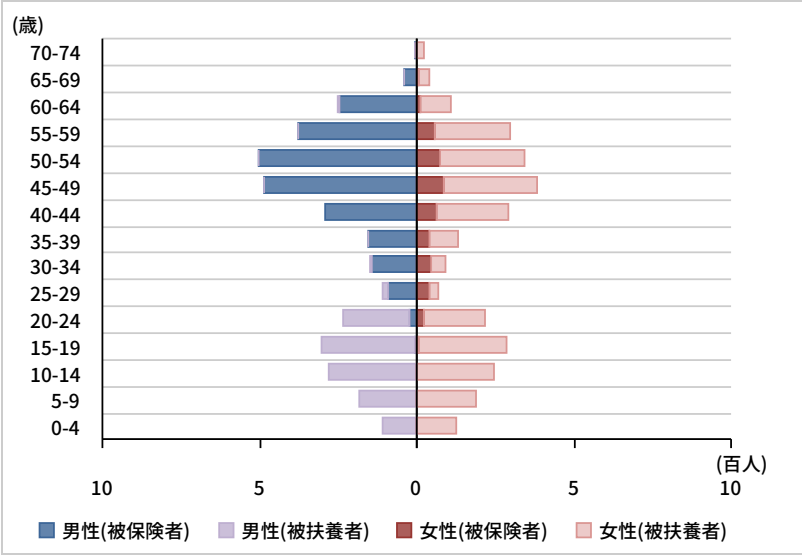
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保 険者を除く	2,805名 男性83.9% (平均年齢48.01歳) * 女性16.1% (平均年齢43.29歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保 険者数	0名	-名	-名
加入者数	6,087名	-名	-名
適用事業所数	7カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠 点 数	10カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	70%o	-%o	-%o

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-
事業主	産業医	0	4	-	-	-	-
	保健師等	5	1	-	-	-	-

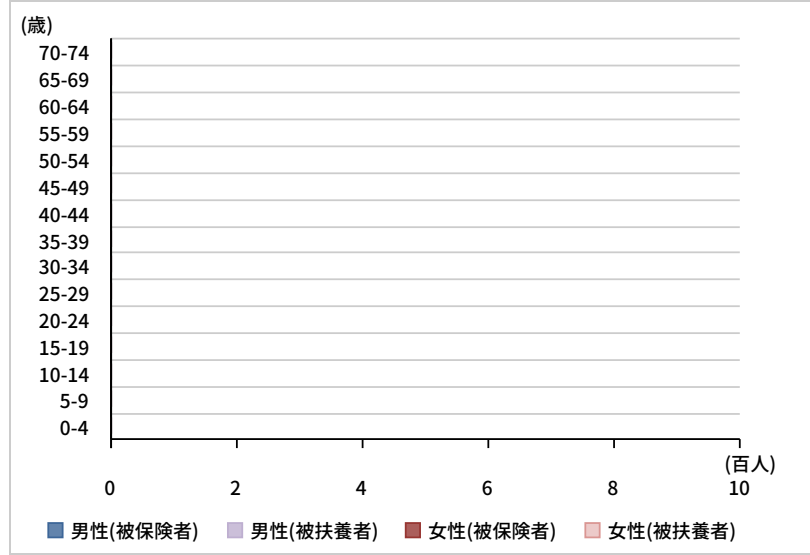
		第2期における基礎数値 (平成28年度の実績値)	
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数 ÷ 特定健康診査対象者数)	全体	2,857 / 3,214 = 88.9 %	
	被保険者	2,058 / 2,076 = 99.1 %	
	被扶養者	799 / 1,138 = 70.2 %	
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数 ÷ 特定保健指導対象者数)	全体	242 / 597 = 40.5 %	
	被保険者	242 / 522 = 46.4 %	
	被扶養者	0 / 75 = 0.0 %	

		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	13,151	4,688	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	14,254	5,082	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	5,850	2,086	-	-	-	-
	疾病予防費	94,578	33,718	-	-	-	-
	体育奨励費	3,703	1,320	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	206	73	-	-	-	-
	小計 …a	131,742	46,967	0	-	0	-
経常支出合計 …b	2,062,404	735,260	-	-	-	-	
a/b×100 (%)	6.39		-	-	-	-	

令和3年度



令和4年度



令和5年度



男性（被保険者）

令和3年度				令和4年度				令和5年度			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	4人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	22人	25～29	91人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	143人	35～39	155人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	289人	45～49	487人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	503人	55～59	379人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	247人	65～69	40人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	4人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被保険者）

令和3年度				令和4年度				令和5年度			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	4人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	20人	25～29	41人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	46人	35～39	39人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	65人	45～49	85人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	77人	55～59	56人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	13人	65～69	4人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	0人			70～74	-人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

令和3年度				令和4年度				令和5年度			
0～4	110人	5～9	185人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	281人	15～19	295人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	209人	25～29	20人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	7人	35～39	2人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	0人	45～49	1人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	1人	55～59	2人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	3人	65～69	1人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	1人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

令和3年度				令和4年度				令和5年度			
0～4	124人	5～9	190人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	248人	15～19	281人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	192人	25～29	26人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	46人	35～39	90人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	231人	45～49	295人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	268人	55～59	239人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	95人	65～69	32人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	20人			70～74	-人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴

- 半導体・部品テストシステム等を開発、製造、販売する(株)アドバンテストを母体企業とした単一健康保険組合である。
- 被保険者の平均年齢は、45.0歳で、男性被保険者の割合が高い。また、被保険者の年齢構成は、40歳代が多く、被保険者全体の40%を占める。
- 扶養率は、健康保険組合全国平均と比べ高い。

STEP 1-2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴

- ・定期健康診断、特殊健診等は、事業所巡回型を導入、健保と共同実施し、受診率向上に取り組んでいる。
- ・24年度の特定保健指導の実施率は、国が掲げる目標値をクリアしたが、実施効果を再度検証する必要がある。
- ・事業主には、産業医、看護師等のスタッフが常勤しており、保険事業が充実している。

事業の一覧

職場環境の整備

保健指導宣伝	ヘルスアップ推進委員会
--------	-------------

加入者への意識づけ

特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	健診結果自己診断シート
保健指導宣伝	前期高齢者の生活訪問指導
体育奨励	ウォーキング(歩数計)事業

個別の事業

特定健康診断事業	特定健康診断
保健指導宣伝	ホームページ
疾病予防	巡回生活習慣病健診
疾病予防	人間ドック
疾病予防	巡回主婦健診
疾病予防	婦人科検査
疾病予防	脳ドック
疾病予防	巡回歯科検診
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助
直営保養所	ベネフィット・ステーション(福利厚生)
その他	医療費通知
その他	ジェネリック医薬品の利用促進

事業主の取組

1	定期健康診断、特殊健康診断、特定業務健康診断
2	海外赴任前健診、帰国時健診
3	健康診断事後措置に伴う個別指導
4	過重労働対策
5	傷病による休業者の職場復帰支援
6	ストレス診断
7	メンタルヘルス教育
8	産業健康相談
9	臨床心理士によるカウンセリング
10	就業制限の適用
11	健康情報提供
12	新入社員配属後面接
13	全社禁煙

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2)評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備													
保健指導宣伝	1	ヘルスアップ推進委員会	【目的】組合員のヘルスアップを推進 【概要】保健事業の計画,企画,立案,実施への参画ならびに実施の推進	被保険者	全て	男女	18～74	全員	0	実施なし	-	-	1
加入者への意識づけ													
特定保健指導事業	1,4	特定保健指導	【目的】特定保健指導によるメタボリックシンドロームの減少、生活習慣改善 【概要】専門業者を利用、事業主と協業した特定保健指導の実施	被保険者	全て	男女	40～74	全員	4,673	平成28年度 実施率48%	過去の実施効果をホームページ等で公表。	経年者の脱落、マンネリ化	4
保健指導宣伝	2	健診結果自己診断シート	【目的】自己管理意識の向上、重症化予防 【概要】健診結果から生活習慣病発症リスクの高い加入者に対し個人別の自己診断シートを作成、被保険者分の一部は、産業医面談のツールとして事業主へ提供する。(事業主とのコラボ)	被保険者 被扶養者	全て	男女	18～74	基準該当者	1,303	平成28年度は、生活習慣病発症の高い被保険者・被扶養者に対し自己診断シートを作成(外部業者へ委託)、配布した。被保険者の一部は、産業医面談のツールとして事業主へ提供する。	事業主とのコラボ	特定保健指導と重複している者への対応。 自己診断シートのコンテンツが乏しい。	4
	2,4	前期高齢者の生活訪問指導	【目的】前期高齢者の生活改善、受診勧奨、重症化予防、医療費の削減、高齢者納付金の軽減 【概要】保健指導を専門業者へ委託	被保険者 被扶養者	全て	男女	65～74	基準該当者	0	実施なし	-	運用面で課題あり	1
体育奨励	2	ウォーキング(歩数計)事業	【目的】加入者の健康意識向上、自律的な健康管理の支援 【概要】被保険者に対し歩数計を無償で提供、健康管理システムの併用(個人で歩数、血圧等を記録)	被保険者 被扶養者	全て	男女	0～74	全員	934	平成28年度参加者延べ581名	貯めたポイントを景品と交換できるキャンペーンを開始	利用者の停滞	3
個別の事業													
特定健康診査事業	3	特定健康診査	【目的】特定健康診査の受診率向上 【概要】巡回健診、人間ドックの健診を導入し、受診機会を幅広く提供	被保険者 被扶養者	全て	男女	40～74	基準該当者	9,947	平成28年度 実施率88%	事業主との共同実施、巡回主婦健診の導入	被扶養者の受診率向上	4
保健指導宣伝	-	ホームページ	【目的】健康保険・医療に関するお知らせ、情報の提供、各種申請書類ダウンロード、各種申請システムの付随 【概要】委託業者の活用	被保険者 被扶養者	全て	男女	0～74	全員	432	随時情報を更新	タイムリーな情報提供 各種申請書のダウンロード 補助金等の申請システム 健康情報サイトへのリンク	-	3
疾病予防	-	巡回生活習慣病健診	【目的】疾病の早期発見、自己管理意識の向上 【概要】受診費用の全額を負担	被保険者	全て	男女	35～74	基準該当者	10,741	平成28年度769名	労働安全衛生法の健診と一体的の実施	受診率の向上	4
	-	人間ドック	【目的】疾病の早期発見、自己管理意識向上 【概要】受診費用の一部を負担	被保険者 被扶養者	全て	男女	35～74	基準該当者	28,617	平成28年度1146名	全ての医療機関を補助の対象申請のシステム化	-	4
	-	巡回主婦健診	【目的】疾病の早期発見、自己管理意識向上 【概要】受診費用の全額を負担	被扶養者	全て	女性	30～74	基準該当者	19,348	平成28年度845名	全国に健診会場を設置 2次募集の実施	受診率の向上	4
	-	婦人科検査	【目的】疾病の早期発見、自己管理意識向上 【概要】受診費用の一部を負担	被保険者 被扶養者	全て	女性	30～74	基準該当者	1,197	平成28年度266名	申請のシステム化	-	4

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価		
				資格	対象事業所	性別	年齢		対象者	実施状況・時期	成功・推進要因		課題及び阻害要因	
	-	脳ドック	【目的】 疾病の早期発見、自己管理意識の向上 【概要】 受診費用の一部を負担 2年に1回の補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	35 ～ 74	基準該 当者	7,675	平成28年度307名	申請のシステム化	-	3	
	-	巡回歯科検診	【目的】 むし歯、歯周病の早期発見、口腔衛生意識向上 【概要】 受診費用の全額を負担	被保険者	全て	男女	18 ～ 74	全員	10,398	平成28年度2407名	労働安全衛生法の巡回健診と一体的に 実施	-	4	
	-	インフルエンザ予防接種補助	【目的】 インフルエンザの感染予防 【概要】 予防接種にかかる費用の一部を負担	被保険者	全て	男女	18 ～ 74	基準該 当者	2,507	平成28年度692名	全ての医療機関を対象	-	3	
直営 保養所	-	ベネフィット・ステーション(福利厚生)	【目的】 加入者に対する福利厚生サービス 【概要】 福利厚生サービス請負業者と契約、加入者がスポーツクラブ、宿泊など割安で利用できる。	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	全員	12,066	委託業者との契約一部見直し、費用を削減した。	-	利用者のかたより、利用率の低迷	-	3
その他	8	医療費通知	【目的】 医療費の確認、医療費コスト意識の浸透 【概要】 毎月発送、WEBシステム化	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	全員	0	平成28年度はシステム変更の検討し、平成29年度には変更する。	基幹システムとの連携	-	3	
	8	ジェネリック医薬品の利用促進	【目的】 ジェネリック医薬品の利用促進 【概要】 ジェネリック利用カードの配布、ホームページによる利用促進	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	全員	0	平成28年度は、利用カードを配布、システム導入を検討	-	-	3	

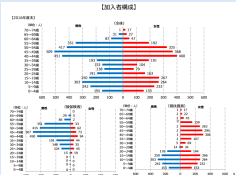




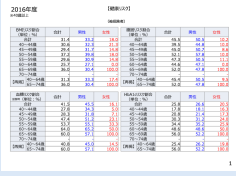
注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 訪問指導 8. その他

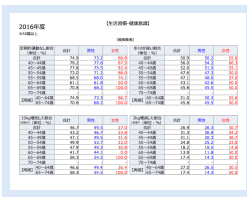

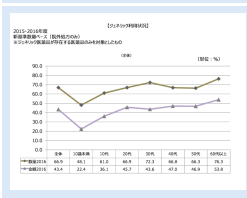
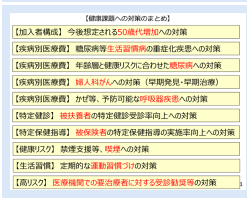
注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
定期健康診断、特殊健康診断、特定業務健康診断	【目的】従業員の健康管理 【概要】労働安全衛生法に基づき実施	被保険者	男女	18～64	【実施時期】 通年 【実施状況】 原則として対象者全員に実施	勤務期間中に実施		有
海外赴任前健診、帰国時健診	【目的】海外赴任者の健康管理 【概要】労働安全衛生法に基づき実施	被保険者	男女	18～64	【実施時期】 通年 【実施状況】 原則として対象者全員に実施	費用は、健保からの補助金と合わせて、全額会社負担		無
健康診断事後措置に伴う個別指導	【目的】従業員の健康管理 【概要】受診勧奨や生活習慣指導	被保険者	男女	18～64	【実施時期】 通年 【実施状況】 原則として対象者全員に実施	勤務時間中に実施	【課題】脂質異常者の削減	無
過重労働対策	【目的】従業員の健康管理 【概要】月60時間以上の時間外労働者に健康チェックシートを使った問診と産業医健康相談	被保険者	男女	18～64	【実施時期】 通年 【実施状況】 原則として対象者全員に実施	勤務期間中に実施		無
傷病による休業者の職場復帰支援	【目的】退職者のフォローアップ 【概要】職場復帰手順にもとづいた支援	被保険者	男女	18～64	【実施時期】 通年 【実施状況】 原則として対象者全員に実施	勤務期間中に実施 人事、組織、主治医、健康管理室の連携	【課題】再発防止	無
ストレス診断	【目的】従業員の健康管理 【概要】個人：ストレスへの気づきを促しセルフケアに役立てる。職場：改善の必要性やポイントを知る。	被保険者	男女	18～64	【実施時期】 通年 【実施状況】 年1回一斉診断期間を設け、組織診断と結果の分析と組織へのフィードバック	勤務期間中に実施 イントラからの入力による診断		無
メンタルヘルス教育	【目的】従業員の健康管理 【概要】新入社員研修、新任管理職研修、ラインケア研修、e-learning	被保険者	男女	18～64	【実施時期】 新入社員研修4月、新任管理職研修7月、ラインケア研修1月～3月、e-arning2月 【実施状況】 原則として対象者全員に実施	勤務期間中に実施		無
産業健康相談	【目的】従業員の健康管理 【概要】本人や家族の心身の健康についての相談	被保険者	男女	18～64	【実施時期】 通年 【実施状況】 希望者に実施	勤務期間中に実施		無
臨床心理士によるカウンセリング	【目的】従業員の健康管理 【概要】メンタルヘルス対策として専門家による相談の場を提供	被保険者	男女	18～64	【実施時期】 通年 【実施状況】 相談日は月2回。希望者に実施	勤務期間中に実施 社外資源		無
就業制限の適用	【目的】適切な就業管理 【概要】休業からの職場復帰者、持病、健診有所見者の就業制限	被保険者	男女	18～64	【実施時期】 通年 【実施状況】 対象者に実施	勤務期間中に実施		無
健康情報提供	【目的】従業員の健康管理 【概要】健康情報と健康管理支援についての説明	被保険者	男女	18～64	【実施時期】 通年 【実施状況】 イン트라ネットを使った情報配信	勤務期間中に実施		無
新入社員配属後面接	【目的】従業員の健康管理 【概要】健康状態の確認とセルフケアの説明、健康管理室のアピール	被保険者	男女	18～64	【実施時期】 下期（新入社員研修期間により変更） 【実施状況】 対象者全員と面接	勤務期間中に実施		無
全社禁煙	【目的】従業員の健康管理 【概要】全事業所敷地内で全面禁煙	被保険者	男女	20～64	【実施時期】 平成27年1月～ 【実施状況】 禁煙エリアの撤去	勤務期間中に実施		無

STEP 1-3 基本分析

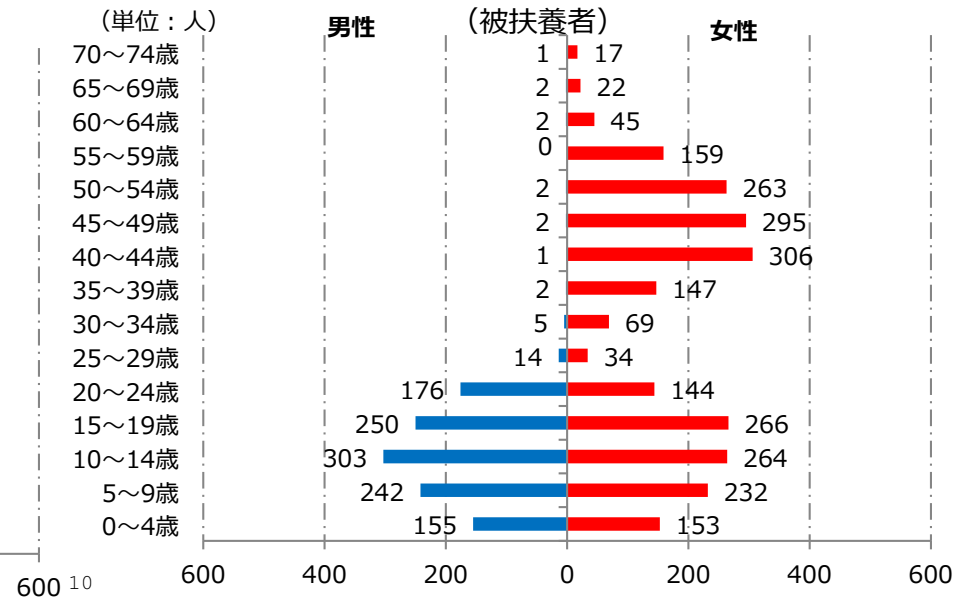
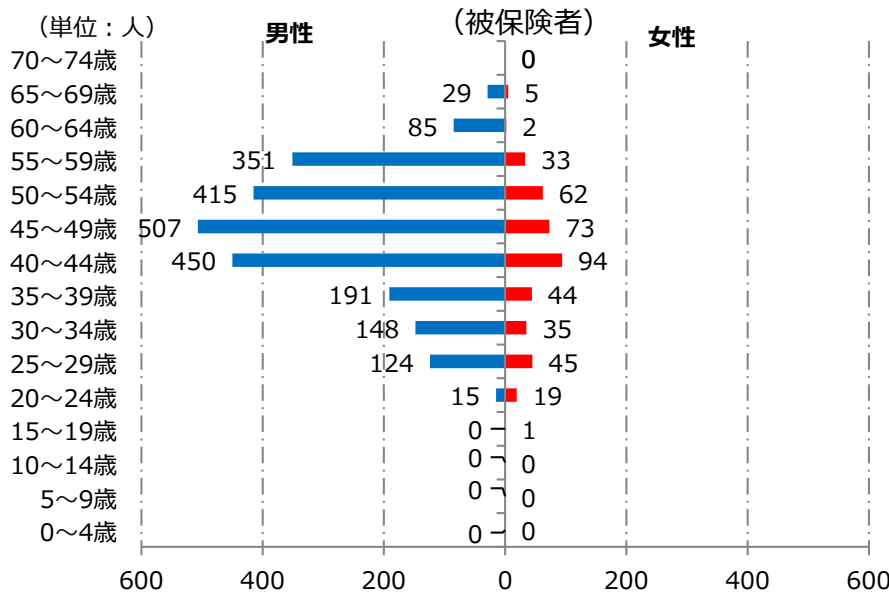
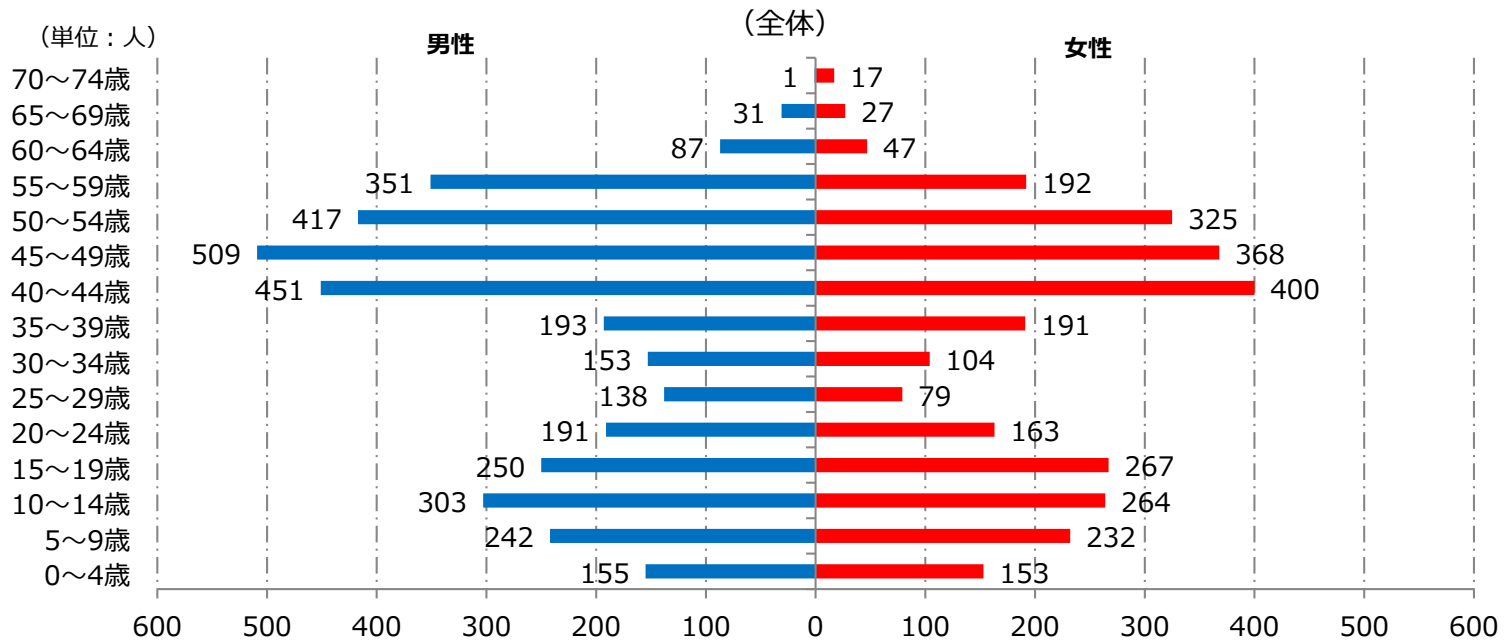
登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		分析①（加入者構成）	加入者構成の分析	-
イ		分析②（医療費）	医療費・患者数分析	-
ウ		分析③（疾病別医療費）	医療費・患者数分析	-
エ		分析④（高額医療費）	医療費・患者数分析	-
オ		分析⑤⑥（特定健診・特定保健指導）	特定健診分析	-
カ		分析⑦（健康リスク）	健康リスク分析	-

<p>キ</p> 	<p>分析⑧（生活習慣・健康意識）</p>	<p>健康リスク分析</p>	-
<p>ク</p> 	<p>分析⑨（高リスク）</p>	<p>健康リスク分析</p>	-
<p>ケ</p> 	<p>分析⑩（ジェネリック）</p>	<p>後発医薬品分析</p>	-
<p>コ</p> 	<p>分析⑪（健康課題と保健事業）</p>	<p>その他</p>	-

【加入者構成】

【2016年度末】

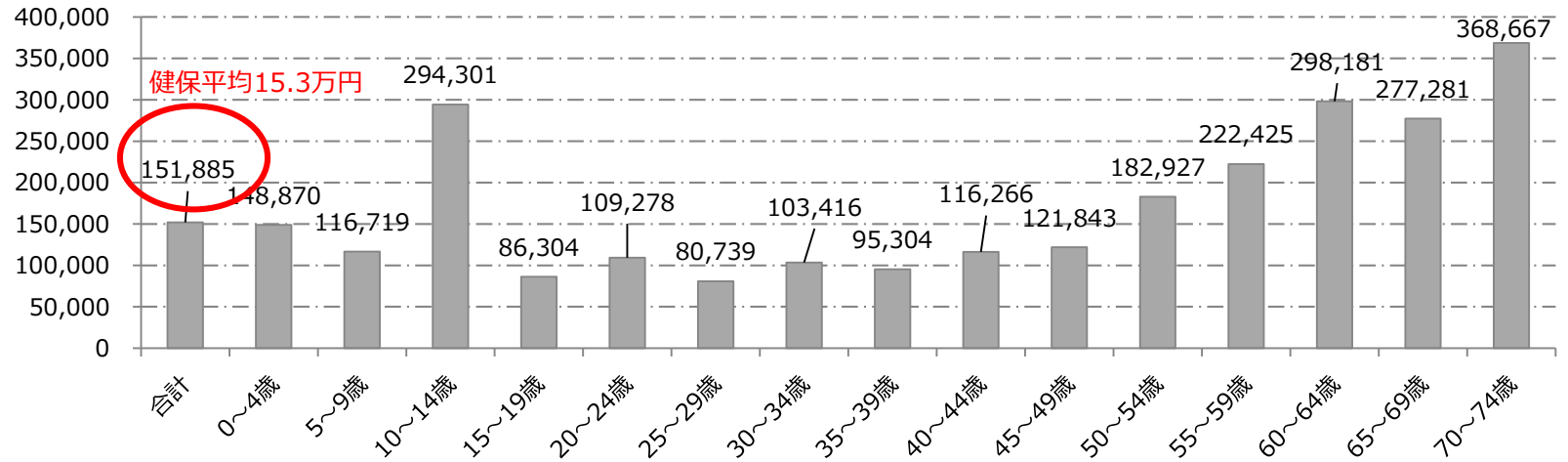


【一人当たり医療費】

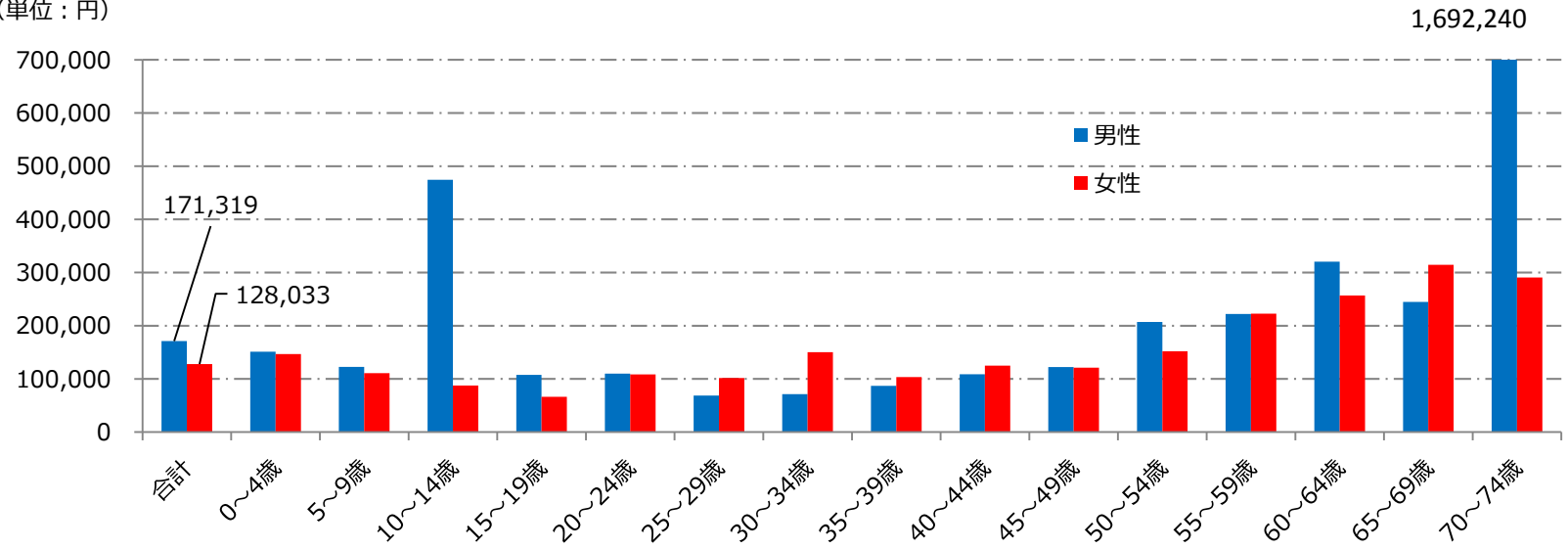
※2016年度

(全体)

(単位：円)



(単位：円)



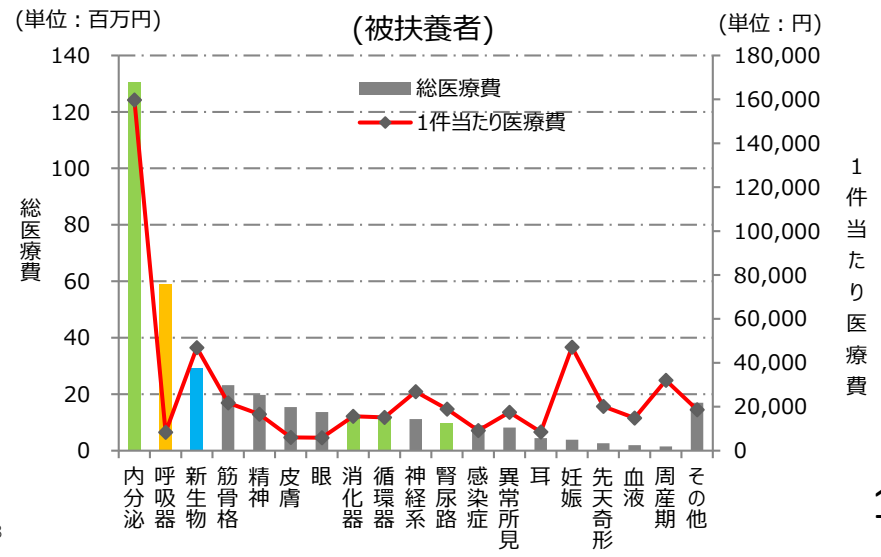
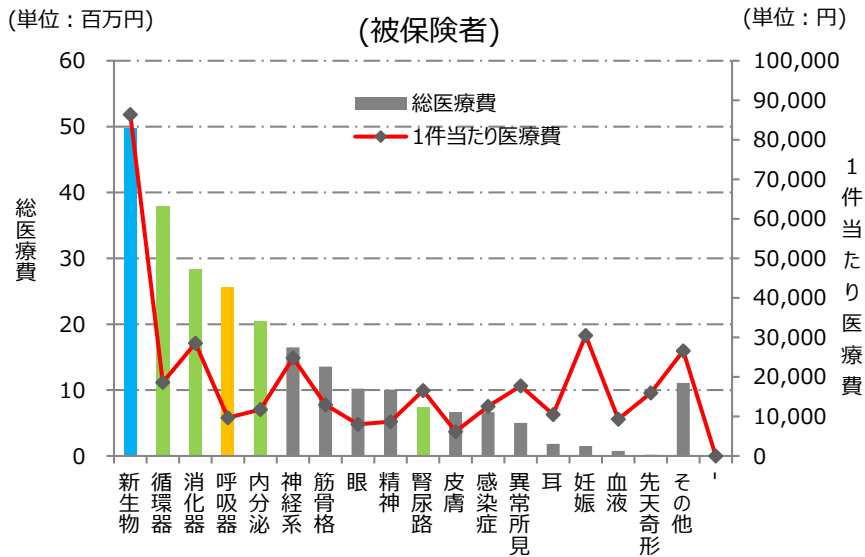
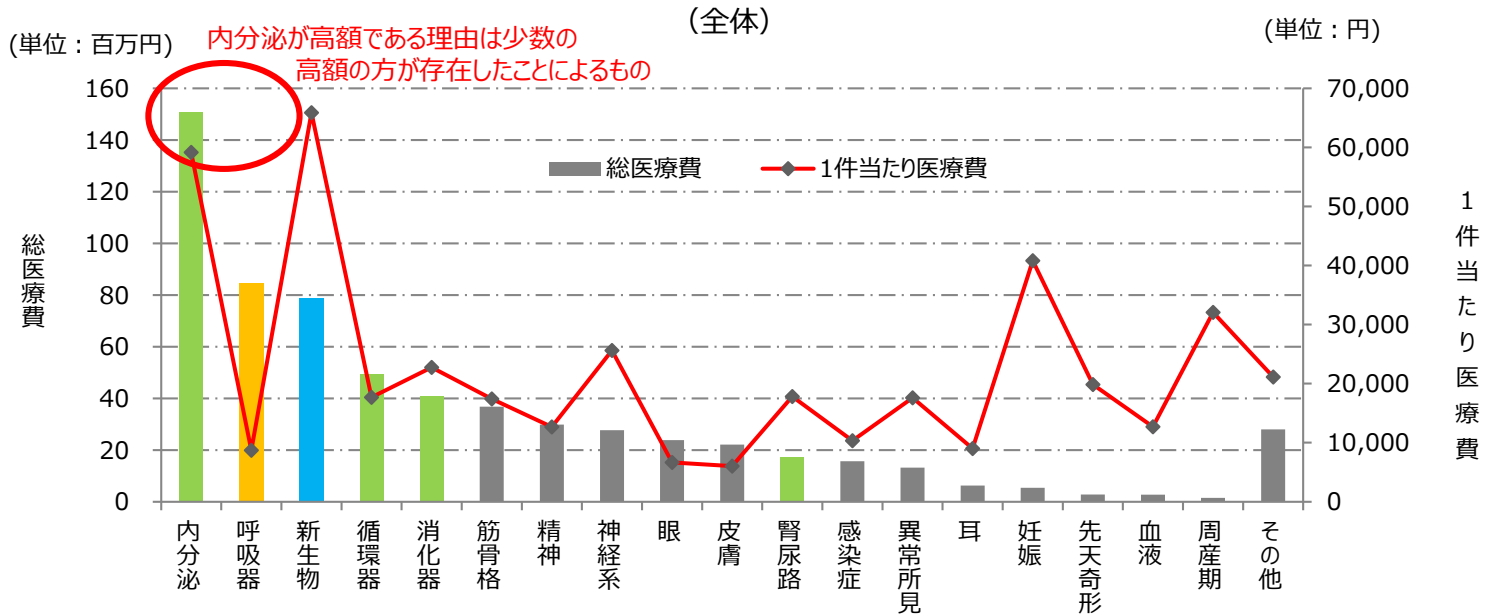
【年齢別医療費の三要素】

	総医療費（単位：円）				1人当たり医療費（単位：円）			
	入院	外来	歯科	調剤	入院	外来	歯科	調剤
合計	181,838,330	472,530,810	109,964,310	192,692,420	28,859	74,993	17,452	30,581
0～4歳	11,599,210	24,192,920	0	10,059,730	37,660	78,548	0	32,661
5～9歳	3,213,010	25,734,200	12,979,190	13,398,500	6,779	54,292	27,382	28,267
10～14歳	3,540,090	144,188,580	7,767,970	11,372,130	6,244	254,301	13,700	20,057
15～19歳	8,482,390	18,021,180	5,408,510	12,707,160	16,407	34,857	10,461	24,579
20～24歳	13,671,860	10,424,920	3,657,550	10,930,100	38,621	29,449	10,332	30,876
25～29歳	2,919,450	8,608,440	3,090,590	2,901,830	13,454	39,670	14,242	13,372
30～34歳	7,953,280	9,618,480	3,312,910	5,693,290	30,947	37,426	12,891	22,153
35～39歳	4,199,430	17,066,880	7,349,280	7,981,030	10,936	44,445	19,139	20,784
40～44歳	20,100,120	40,229,810	15,088,620	23,523,790	23,619	47,274	17,730	27,643
45～49歳	23,561,710	43,323,530	15,413,460	24,557,420	26,866	49,400	17,575	28,002
50～54歳	38,891,460	52,468,150	15,298,440	29,073,870	52,414	70,712	20,618	39,183
55～59歳	26,410,390	54,667,030	14,243,590	25,455,770	48,638	100,676	26,231	46,880
60～64歳	12,451,670	13,934,000	4,105,290	9,465,360	92,923	103,985	30,636	70,637
65～69歳	4,010,870	6,834,130	1,479,960	3,757,330	69,153	117,830	25,517	64,782
70～74歳	833,390	3,218,560	768,950	1,815,110	46,299	178,809	42,719	100,839

	受診率（単位：件）			1件当たり日数（単位：日）			1日当たり医療費（単位：円）		
	入院	外来	歯科	入院	外来	歯科	入院	外来	歯科
合計	6.2	592.4	170.5	8.55	1.37	1.62	54,688	9,213	6,310
0～4歳	12.0	964.6	0.0	5.49	1.56	0.00	57,139	5,229	0
5～9歳	3.0	796.8	354.2	2.64	1.39	1.28	86,838	4,898	6,045
10～14歳	1.8	588.2	173.4	4.20	1.41	1.27	84,288	30,691	6,199
15～19歳	4.3	455.1	104.4	7.86	1.30	1.46	49,031	5,887	6,838
20～24歳	9.0	328.5	98.0	16.97	1.23	1.61	25,178	7,316	6,531
25～29歳	5.5	397.7	134.6	4.42	1.38	1.69	55,084	7,222	6,269
30～34歳	10.1	482.9	116.0	4.96	1.43	1.74	61,653	5,419	6,383
35～39歳	4.7	451.0	147.4	8.83	1.34	1.64	26,412	7,363	7,902
40～44歳	4.9	478.1	171.4	7.10	1.37	1.70	67,450	7,215	6,077
45～49歳	5.6	530.1	162.0	8.86	1.36	1.79	54,290	6,871	6,064
50～54歳	6.1	672.0	185.2	11.71	1.36	1.77	73,798	7,738	6,278
55～59歳	10.3	749.2	228.4	7.88	1.32	1.82	59,888	10,180	6,305
60～64歳	11.9	962.7	270.9	13.44	1.28	1.73	57,915	8,450	6,548
65～69歳	13.8	977.6	231.0	7.00	1.51	1.96	71,623	7,993	5,649
70～74歳	11.1	1,466.7	277.8	7.50	1.52	2.50	55,559	8,026	6,152

【疾病別医療費】

2016年度



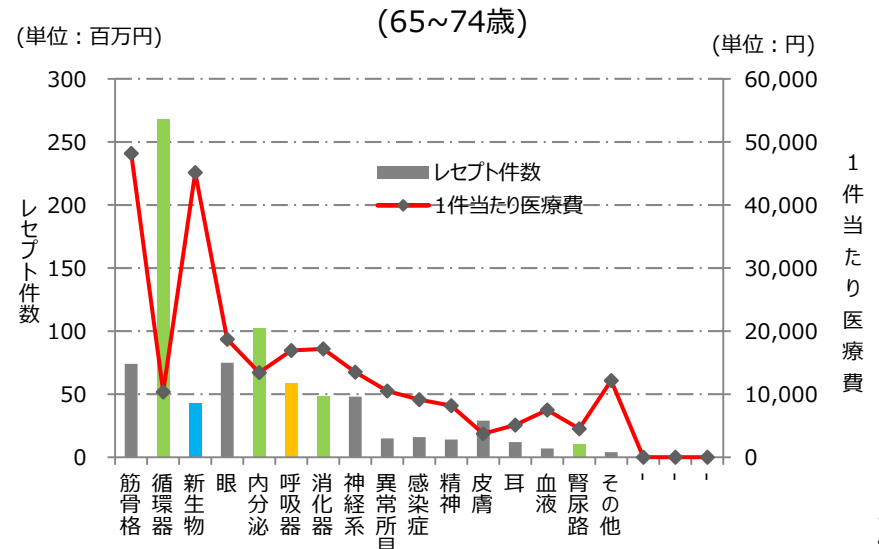
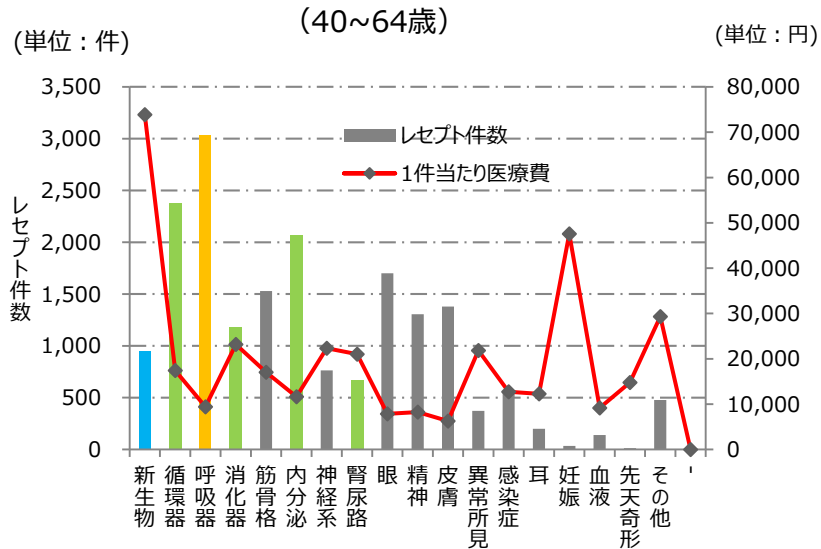
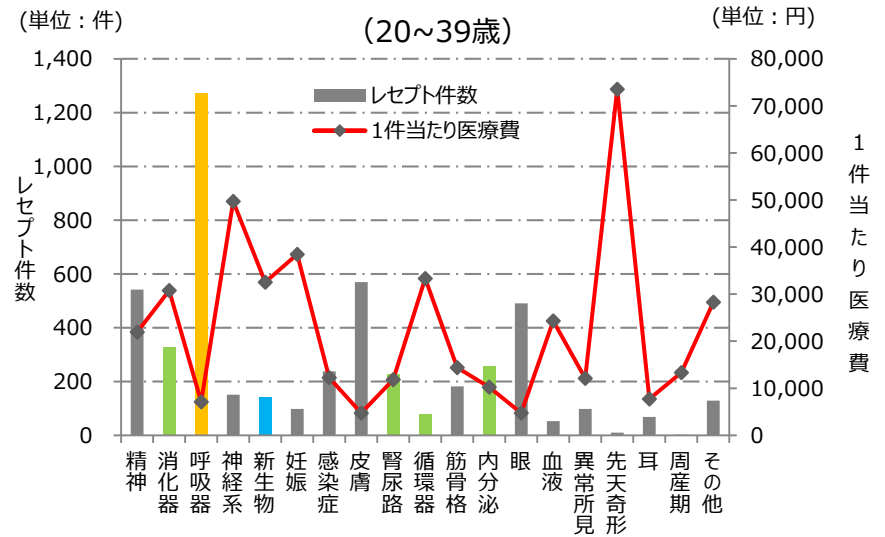
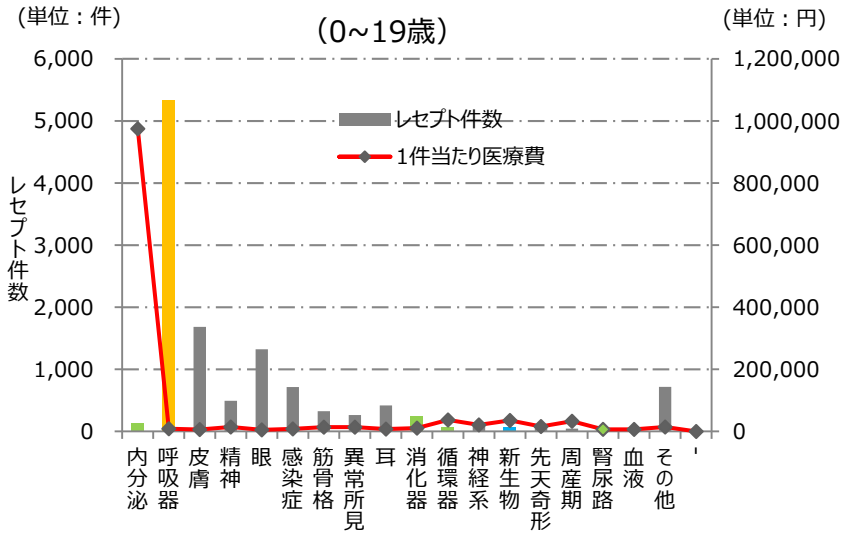
(参考) 疾病分類表

19分類	119分類	19分類	119分類	19分類	119分類						
1 感染症及び寄生虫症	1腸管感染症	7 眼及び付属器の疾患	39結膜炎	12 皮膚及び皮下組織の疾患	85皮膚及び皮下組織の感染症						
	2結核		40白内障		86皮膚炎及び湿疹						
	3主として性的伝播様式をとる感染症		41屈折及び調節の障害		87その他の皮膚及び皮下組織の疾患						
	4皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患	42その他の眼及び付属器の疾患	13 筋骨格系及び結合組織の疾患		88炎症性多発性関節障害						
	5ウイルス肝炎	43外耳炎			89関節症						
	6その他のウイルス疾患	44その他の外耳疾患			90脊椎障害（脊椎症を含む）						
	7真菌症	45中耳炎			91椎間板障害						
	8感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	46その他の中耳及び乳様突起の疾患			92頸腕症候群						
	9その他の感染症及び寄生虫症	47メニエール病			93腰痛症及び坐骨神経痛						
2 新生物	10胃の悪性新生物	48その他の内耳疾患			94その他の脊柱障害	14 腎尿路及び生殖器系の疾患	95肩の障害				
	11結腸の悪性新生物	49その他の耳疾患			96骨の密度及び構造の障害						
	12直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	50高血圧性疾患			97その他の筋骨格系及び結合組織の疾患						
	13肝及び肝内胆管の悪性新生物	51虚血性心疾患		98糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患							
	14気管、気管支及び肺の悪性新生物	52その他の心疾患		99腎不全							
	15乳房の悪性新生物	53くも膜下出血	100尿路結石症								
	16子宮の悪性新生物	54脳内出血	101その他の腎尿路系の疾患								
	17悪性リンパ腫	55脳梗塞	102前立腺肥大（症）								
	18白血病	56脳動脈硬化（症）	103その他の男性生殖器の疾患								
	19その他の悪性新生物	57その他の脳血管疾患	104月経障害及び閉経周辺期障害								
3 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	20良性新生物及びその他の新生物	58動脈硬化（症）	105乳房及びその他の女性生殖器の疾患	15 妊娠、分娩及び産じょく	106流産						
	21貧血	59痔核	107妊娠高血圧症候群								
	22その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	60低血圧（症）	108単胎自然分娩								
4 内分泌、栄養及び代謝疾患	23甲状腺障害	61その他の循環器系の疾患	109その他の妊娠、分娩及び産じょく	16 周産期に発生した病態	110妊娠及び胎児発育に関連する障害						
	24糖尿病	62急性鼻咽頭炎（かぜ）	111その他の周産期に発生した病態								
	25その他の内分泌、栄養及び代謝障害	63急性咽頭炎及び急性扁桃炎	17 形及び染色体異常	112心臓の先天奇形							
	26血管性及び詳細不明の認知症	64その他の急性上気道感染症		113その他の先天奇形、変形及び染色体異常							
	5 精神及び行動の障害	27精神作用物質使用による精神及び行動の障害	65肺炎	18 見・異常検査所見で他に分類されないもの	19 傷傷、中毒及びその他の外因の影響	114症状、徴候及び異常臨床所見・異常					
28統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害		66急性気管支炎及び急性細気管支炎	115骨折								
29気分（感情）障害（躁うつ病を含む）		67アレルギー性鼻炎	116頭蓋内損傷及び内臓の損傷								
30神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害		68慢性副鼻腔炎	117熱傷及び腐食								
31知的障害（精神遅滞）		69急性又は慢性と明示されない気管支炎	118中毒								
32その他の精神及び行動の障害		70慢性閉塞性肺疾患	他	119その他損傷及びその他外因の影響							
33パーキンソン病		71喘息		- 重症急性呼吸器症候群（SARS）	- 特殊目的用コード						
34アルツハイマー病		72その他の呼吸器系の疾患	- 特殊目的用コード								
35てんかん	73う蝕	120重症急性呼吸器症候群（SARS）									
6 神経性の疾患	36脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	74歯肉炎及び歯周疾患	121その他の特殊目的用コード								
	37自律神経系の障害	75その他の歯及び歯の支持組織の障害									
	38その他の神経系の疾患	76胃潰瘍及び十二指腸潰瘍									
	9 循環器系の疾患	39結膜炎	77胃炎及び十二指腸炎								
		10 呼吸器系の疾患	40白内障	78アルコール性肝疾患							
11 消化器系の疾患			41屈折及び調節の障害	79慢性肝炎（アルコール性のものを除く）							
			12 皮膚及び皮下組織の疾患	42その他の眼及び付属器の疾患	80肝硬変（アルコール性のものを除く）						
				13 筋骨格系及び結合組織の疾患	43外耳炎	81その他の肝疾患					
					14 腎尿路及び生殖器系の疾患	44その他の外耳疾患	82胆石症及び胆のう炎				
						15 妊娠、分娩及び産じょく	45中耳炎	83脾疾患			
							16 周産期に発生した病態	46その他の中耳及び乳様突起の疾患	84その他の消化器系の疾患		
								17 形及び染色体異常	47メニエール病		
									18 見・異常検査所見で他に分類されないもの	48その他の内耳疾患	
										19 傷傷、中毒及びその他の外因の影響	49その他の耳疾患
	他										50高血圧性疾患
		- 重症急性呼吸器症候群（SARS）									51虚血性心疾患
- 特殊目的用コード											52その他の心疾患
			- 特殊目的用コード								53くも膜下出血
				- 特殊目的用コード							54脳内出血
					- 特殊目的用コード						55脳梗塞
						- 特殊目的用コード					56脳動脈硬化（症）
							- 特殊目的用コード				57その他の脳血管疾患
								- 特殊目的用コード			58動脈硬化（症）
									- 特殊目的用コード		59痔核
										- 特殊目的用コード	60低血圧（症）
	- 特殊目的用コード										61その他の循環器系の疾患
		- 特殊目的用コード									62急性鼻咽頭炎（かぜ）
- 特殊目的用コード											63急性咽頭炎及び急性扁桃炎
			- 特殊目的用コード								64その他の急性上気道感染症
				- 特殊目的用コード							65肺炎
					- 特殊目的用コード						66急性気管支炎及び急性細気管支炎
						- 特殊目的用コード					67アレルギー性鼻炎
							- 特殊目的用コード				68慢性副鼻腔炎
								- 特殊目的用コード			69急性又は慢性と明示されない気管支炎
									- 特殊目的用コード		70慢性閉塞性肺疾患
										- 特殊目的用コード	71喘息
	- 特殊目的用コード										72その他の呼吸器系の疾患
		- 特殊目的用コード									73う蝕
- 特殊目的用コード											74歯肉炎及び歯周疾患
			- 特殊目的用コード								75その他の歯及び歯の支持組織の障害
				- 特殊目的用コード							76胃潰瘍及び十二指腸潰瘍
					- 特殊目的用コード						77胃炎及び十二指腸炎
						- 特殊目的用コード					78アルコール性肝疾患
							- 特殊目的用コード				79慢性肝炎（アルコール性のものを除く）
								- 特殊目的用コード			80肝硬変（アルコール性のものを除く）
									- 特殊目的用コード		81その他の肝疾患
										- 特殊目的用コード	82胆石症及び胆のう炎
	- 特殊目的用コード										83脾疾患
		- 特殊目的用コード									84その他の消化器系の疾患

【疾病別医療費】

2016年度

(全体)



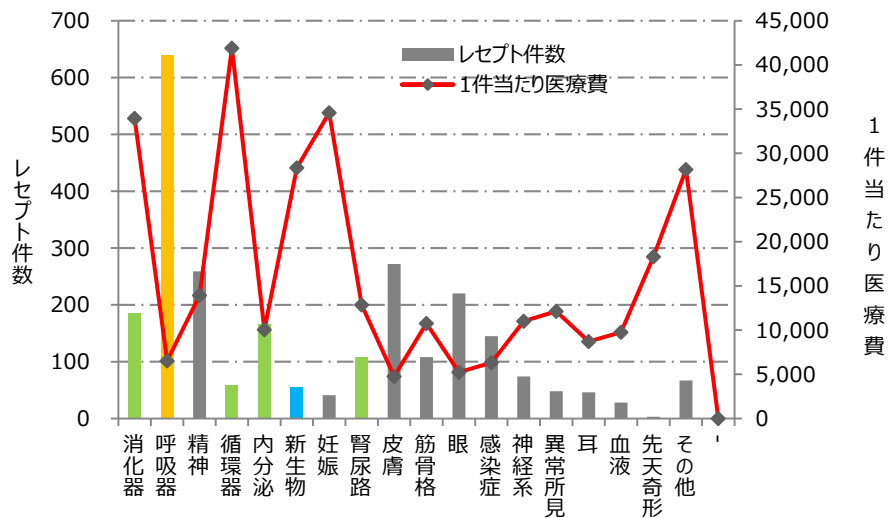
【疾病別医療費】

(被保険者)

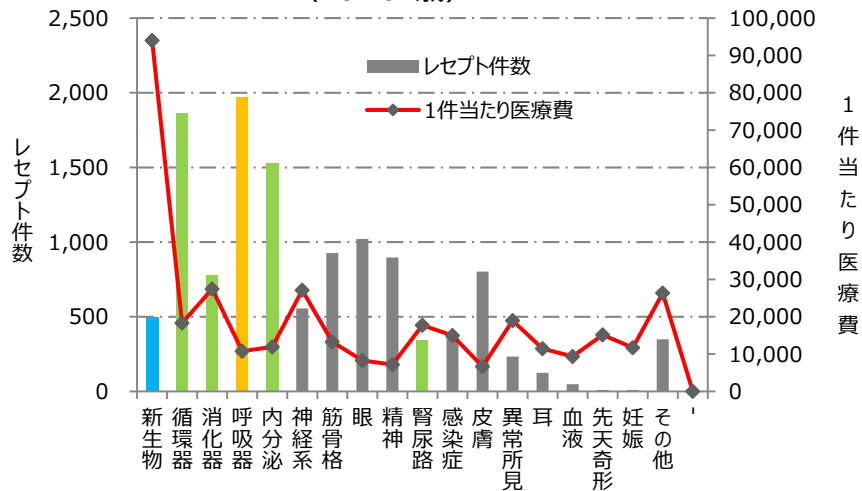
2016年度

(0~19歳)
対象者なし

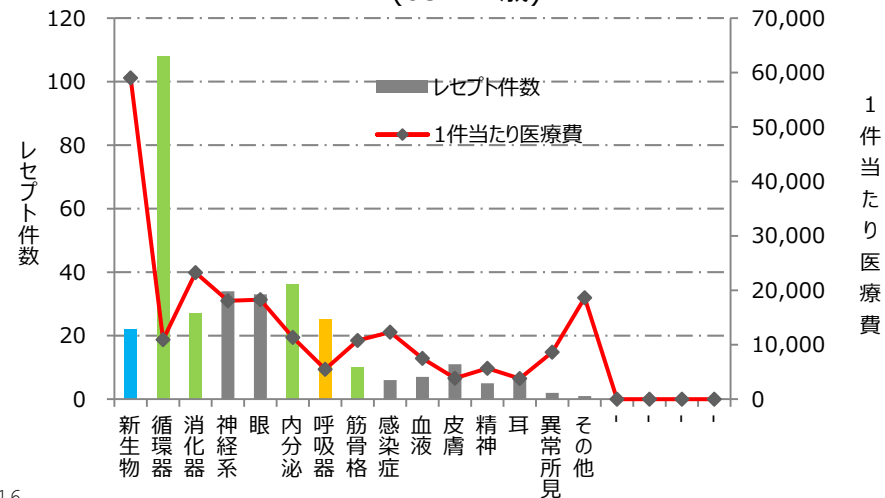
(20~39歳) (単位：円)



(40~64歳) (単位：円)



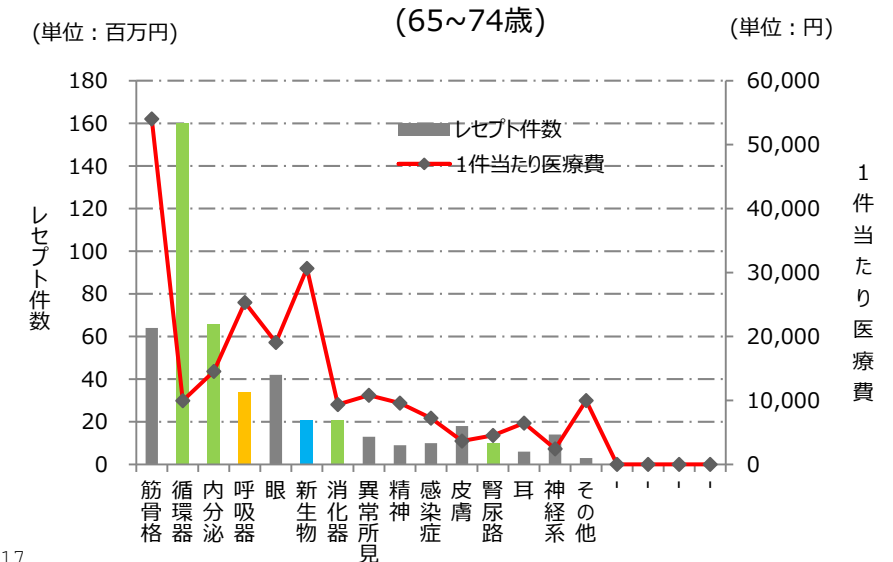
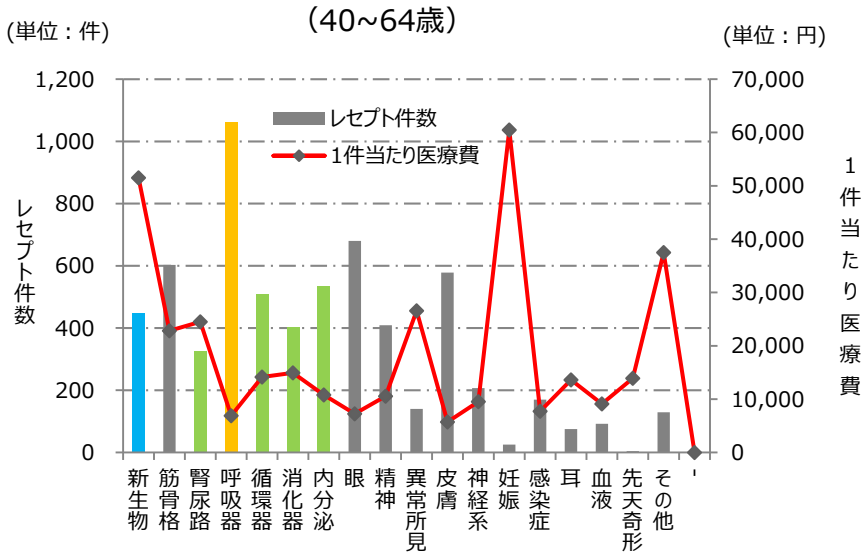
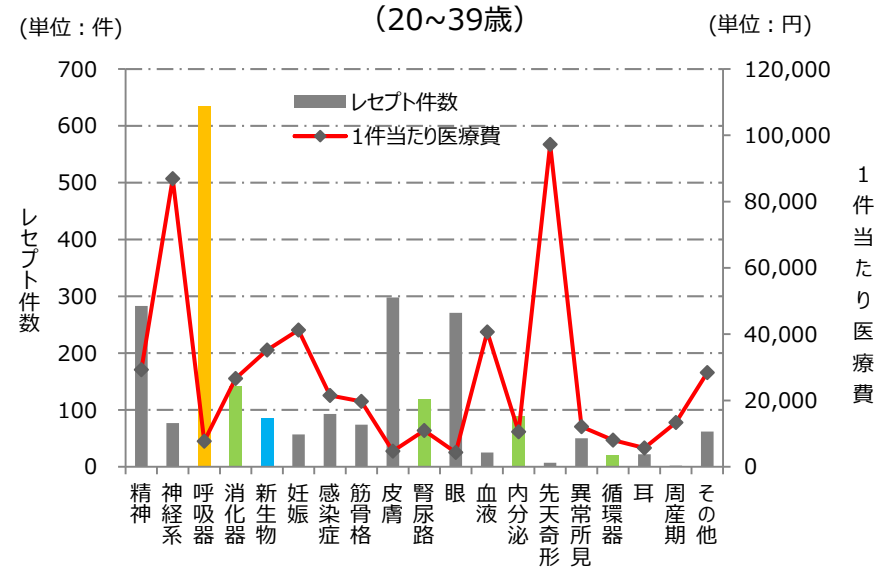
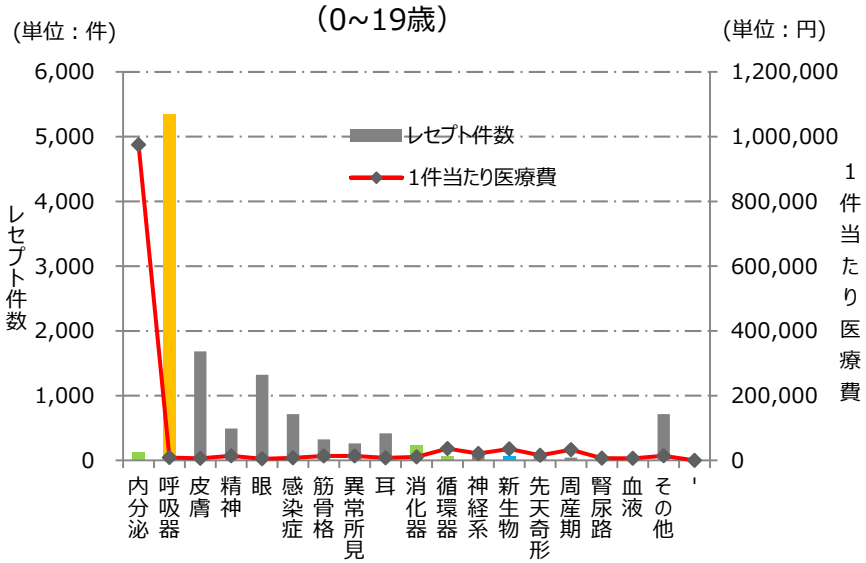
(65~74歳) (単位：円)



【疾病別医療費】

2016年度

(被扶養者)



【高額医療費】

2016年度

(全体)

男性	1位	2位	3位	4位	5位	
総医療費 (円)	0～9歳	その他の急性上気道感染症	喘息	急性気管支炎及び急性細気管支炎	アレルギー性鼻炎	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患
	10～19歳	その他の内分泌、栄養及び代謝障害	その他の呼吸器系の疾患	その他の精神及び行動の障害	その他損傷及びその他外因の影響	アレルギー性鼻炎
	20～29歳	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	その他の消化器系の疾患	てんかん	その他の神経系の疾患	その他の精神及び行動の障害
	30～39歳	その他の消化器系の疾患	その他の心疾患	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	その他の神経系の疾患	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害
	40～49歳	結腸の悪性新生物	その他の消化器系の疾患	虚血性心疾患	その他損傷及びその他外因の影響	良性新生物及びその他の新生物
	50～59歳	白血病	その他の神経系の疾患	高血圧性疾患	その他の消化器系の疾患	肺炎
	60～69歳	虚血性心疾患	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	良性新生物及びその他の新生物	その他の悪性新生物	高血圧性疾患
	70歳～	椎間板障害	その他の悪性新生物	脊椎障害（脊椎症を含む）	血管性及び詳細不明の認知症	高血圧性疾患
レセプト1件当 たり医療費 (円)	0～9歳	肺炎	その他の内分泌、栄養及び代謝障害	その他の周産期に発生した病態	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	良性新生物及びその他の新生物
	10～19歳	その他の内分泌、栄養及び代謝障害	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	ウイルス肝炎	てんかん	癲疾
	20～29歳	てんかん	その他の悪性新生物	骨折	その他の消化器系の疾患	癲疾
	30～39歳	その他の心疾患	その他の消化器系の疾患	心臓の先天奇形	虚血性心疾患	腎不全
	40～49歳	結腸の悪性新生物	その他の循環器系の疾患	胆石症及び胆のう炎	虚血性心疾患	慢性閉塞性肺疾患
	50～59歳	肺炎	白血病	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	結腸の悪性新生物	パーキンソン病
	60～69歳	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	虚血性心疾患	その他の悪性新生物	ウイルス肝炎	良性新生物及びその他の新生物
	70歳～	椎間板障害	その他の悪性新生物	脊椎障害（脊椎症を含む）	血管性及び詳細不明の認知症	その他の心疾患
受診率 (件)	0～9歳	その他の急性上気道感染症	アレルギー性鼻炎	喘息	皮膚炎及び湿疹	急性気管支炎及び急性細気管支炎
	10～19歳	アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎	その他損傷及びその他外因の影響	喘息	その他の急性上気道感染症
	20～29歳	屈折及び調節の障害	皮膚炎及び湿疹	アレルギー性鼻炎	その他の急性上気道感染症	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）
	30～39歳	皮膚炎及び湿疹	アレルギー性鼻炎	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	その他の内分泌、栄養及び代謝障害
	40～49歳	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	高血圧性疾患	その他の内分泌、栄養及び代謝障害	アレルギー性鼻炎	屈折及び調節の障害
	50～59歳	高血圧性疾患	その他の内分泌、栄養及び代謝障害	糖尿病	その他の神経系の疾患	アレルギー性鼻炎
	60～69歳	高血圧性疾患	糖尿病	その他の内分泌、栄養及び代謝障害	脳梗塞	その他の神経系の疾患
	70歳～	高血圧性疾患	その他の心疾患	椎間板障害	その他の悪性新生物	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患

女性	1位	2位	3位	4位	5位	
総医療費 (円)	0～9歳	喘息	その他の急性上気道感染症	急性気管支炎及び急性細気管支炎	皮膚炎及び湿疹	その他の心疾患
	10～19歳	その他の内分泌、栄養及び代謝障害	屈折及び調節の障害	その他損傷及びその他外因の影響	アレルギー性鼻炎	その他の消化器系の疾患
	20～29歳	腸管感染症	その他損傷及びその他外因の影響	良性新生物及びその他の新生物	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	その他の妊娠、分娩及び産じょく
	30～39歳	その他の妊娠、分娩及び産じょく	てんかん	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	良性新生物及びその他の新生物	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）
	40～49歳	良性新生物及びその他の新生物	子宮の悪性新生物	乳房の悪性新生物	骨折	その他の消化器系の疾患
	50～59歳	乳房の悪性新生物	関節症	症状、徴候及び異常臨床所見・異常	脊椎障害（脊椎症を含む）	脳内出血
	60～69歳	関節症	骨の密度及び構造の障害	乳房の悪性新生物	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	糖尿病
	70歳～	高血圧性疾患	屈折及び調節の障害	気管、気管支及び肺の悪性新生物	糖尿病	症状、徴候及び異常臨床所見・異常
レセプト1件当 たり医療費 (円)	0～9歳	その他の心疾患	肺炎	骨折	その他の周産期に発生した病態	その他の内分泌、栄養及び代謝障害
	10～19歳	その他の悪性新生物	その他の内分泌、栄養及び代謝障害	その他のウイルス疾患	良性新生物及びその他の新生物	骨折
	20～29歳	その他の先天奇形、変形及び染色体異常	腸管感染症	良性新生物及びその他の新生物	その他損傷及びその他外因の影響	流産
	30～39歳	てんかん	中毒	その他の妊娠、分娩及び産じょく	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	貧血
	40～49歳	骨折	妊娠高血圧症候群	胆石症及び胆のう炎	その他の循環器系の疾患	子宮の悪性新生物
	50～59歳	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	脳内出血	結腸の悪性新生物	乳房の悪性新生物	その他の悪性新生物
	60～69歳	肺炎	腸管感染症	骨の密度及び構造の障害	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	関節症
	70歳～	屈折及び調節の障害	その他の呼吸器系の疾患	気管、気管支及び肺の悪性新生物	肩の障害	良性新生物及びその他の新生物
受診率 (件)	0～9歳	喘息	その他の急性上気道感染症	皮膚炎及び湿疹	アレルギー性鼻炎	急性気管支炎及び急性細気管支炎
	10～19歳	屈折及び調節の障害	アレルギー性鼻炎	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	皮膚炎及び湿疹	その他の急性上気道感染症
	20～29歳	屈折及び調節の障害	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	アレルギー性鼻炎	皮膚炎及び湿疹	その他の急性上気道感染症
	30～39歳	その他の急性上気道感染症	アレルギー性鼻炎	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	屈折及び調節の障害	その他の皮膚及び皮下組織の疾患
	40～49歳	アレルギー性鼻炎	屈折及び調節の障害	良性新生物及びその他の新生物	その他の内分泌、栄養及び代謝障害	皮膚炎及び湿疹
	50～59歳	高血圧性疾患	皮膚炎及び湿疹	屈折及び調節の障害	その他の眼及び付属器の疾患	その他の内分泌、栄養及び代謝障害
	60～69歳	高血圧性疾患	その他の内分泌、栄養及び代謝障害	糖尿病	その他の眼及び付属器の疾患	関節症
	70歳～	高血圧性疾患	関節症	症状、徴候及び異常臨床所見・異常	脊椎障害（脊椎症を含む）	その他の皮膚及び皮下組織の疾患

【特定健診・特定保健指導】

特定健診

(被保険者と被扶養者の合計)

項目	28年度	27年度	26年度	25年度	27健保平均
特定健診受診率	87.8	88.9	89.0	87.6	73.9%
メタボ該当率	12.4	11.6	10.9	10.3	—
メタボ予備群該当率	14.4	14.1	12.4	14.8	—

特定保健指導

項目	28年度	27年度	26年度	25年度	27健保平均
積極的支援対象者数	308	284	250	263	—
積極的支援終了者数	122	112	135	139	—
積極的支援実施率	39.6	39.4	54.0	52.9	—
動機付け支援対象者数	293	254	218	218	—
動機付け支援終了者数	148	140	130	136	—
動機付け支援実施率	50.9	54.7	59.6	62.4	—
特定保健指導対象者数	601	538	468	481	—
特定保健指導終了者数	270	252	265	275	—
特定保健指導実施率	44.9	46.8	56.6	57.2	18.2%

実施率55%に必要な終了者数

330人

2016年度

※40歳以上

【健康リスク】

(被保険者)

BMIリスク割合 (単位：%)		合計	男性	女性
合計		31.4	33.2	18.0
40～44歳		30.6	32.3	21.3
45～49歳		29.4	31.7	14.8
50～54歳		37.2	39.8	18.0
55～59歳		29.6	30.9	14.8
60～64歳		25.7	27.1	0.0
65～69歳		36.0	30.4	100.0
70～74歳		-	-	-
【再掲】	40～64歳	31.3	33.3	17.4
	65～74歳	36.0	30.4	100.0

腹囲リスク割合 (単位：%)		合計	男性	女性
合計		45.5	50.5	10.2
40～44歳		39.5	44.8	10.0
45～49歳		45.0	50.7	8.6
50～54歳		52.1	57.8	10.0
55～59歳		47.3	50.5	11.1
60～64歳		44.6	47.1	0.0
65～69歳		52.0	47.8	100.0
70～74歳		-	-	-
【再掲】	40～64歳	45.4	50.5	9.5
	65～74歳	52.0	47.8	100.0

血糖リスク割合 空腹時 (単位：%)		合計	男性	女性
合計		41.5	45.5	16.1
40～44歳		27.8	34.3	5.0
45～49歳		28.3	31.8	7.1
50～54歳		47.4	51.2	23.1
55～59歳		53.7	55.1	33.3
60～64歳		64.0	65.2	50.0
65～69歳		60.0	57.1	100.0
70～74歳		-	-	-
【再掲】	40～64歳	40.8	45.0	14.5
	65～74歳	60.0	57.1	100.0

HbA1cリスク割合 (単位：%)		合計	男性	女性
合計		25.8	26.6	20.5
40～44歳		17.8	18.1	16.3
45～49歳		20.8	21.4	17.3
50～54歳		30.3	31.2	24.0
55～59歳		34.4	35.2	25.9
60～64歳		48.6	48.6	50.0
65～69歳		56.0	52.2	100.0
70～74歳		-	-	-
【再掲】	40～64歳	25.4	26.2	19.8
	65～74歳	56.0	52.2	100.0

【健康リスク】

2016年度

※40歳以上

(被保険者)

血圧リスク割合 収縮期 (単位：%)		合計	男性	女性
合計		26.5	27.9	16.4
40～44歳		17.8	17.8	17.5
45～49歳		24.7	26.8	11.1
50～54歳		29.6	31.2	18.0
55～59歳		35.6	36.5	25.9
60～64歳		39.2	40.0	25.0
65～69歳		44.0	47.8	0.0
70～74歳		-	-	-
【再掲】	40～64歳	26.3	27.7	16.5
	65～74歳	44.0	47.8	0.0

血圧リスク割合 拡張期 (単位：%)		合計	男性	女性
合計		17.9	19.1	9.0
40～44歳		11.5	12.0	8.8
45～49歳		16.9	18.6	6.2
50～54歳		21.3	22.8	10.0
55～59歳		25.1	25.7	18.5
60～64歳		17.6	18.6	0.0
65～69歳		20.0	21.7	0.0
70～74歳		-	-	-
【再掲】	40～64歳	17.9	19.1	9.1
	65～74歳	20.0	21.7	0.0

中性脂肪リスク割合 (単位：%)		合計	男性	女性
合計		23.6	25.8	7.8
40～44歳		22.1	24.9	6.3
45～49歳		22.5	25.0	6.2
50～54歳		26.5	29.0	8.0
55～59歳		24.3	25.1	14.8
60～64歳		21.6	22.9	0.0
65～69歳		28.0	26.1	50.0
70～74歳		-	-	-
【再掲】	40～64歳	23.5	25.8	7.4
	65～74歳	28.0	26.1	50.0

HDLリスク割合 (単位：%)		合計	男性	女性
合計		6.4	7.1	0.8
40～44歳		6.6	7.6	1.3
45～49歳		6.0	6.8	1.2
50～54歳		6.9	7.8	0.0
55～59歳		5.4	5.9	0.0
60～64歳		8.1	8.6	0.0
65～69歳		8.0	8.7	0.0
70～74歳		-	-	-
【再掲】	40～64歳	6.3	7.1	0.8
	65～74歳	8.0	8.7	0.0

LDLCリスク割合 (単位：%)		合計	男性	女性
合計		52.9	54.8	38.9
40～44歳		49.0	53.7	22.5
45～49歳		49.5	51.3	38.3
50～54歳		57.8	59.4	46.0
55～59歳		58.1	57.3	66.7
60～64歳		58.1	55.7	100.0
65～69歳		48.0	47.8	50.0
70～74歳		-	-	-
【再掲】	40～64歳	52.9	54.9	38.8
	65～74歳	48.0	47.8	50.0

【健康リスクの他健保との比較】



健保連平均と比較して男性は保健指導レベルの 血糖・脂質リスクが高く、女性は全体的に低い

男性（40～74歳）

女性（40～74歳）

2016年度

アドバ
ンテ
スト
健
保

①

血糖
保健指導 30.2%
受診勧奨 5.5%

血圧
保健指導 13.4%
受診勧奨 I 8.8%
受診勧奨 II 2.3%



脂質
保健指導 31.6%
受診勧奨 I 25.8%
受診勧奨 II 3.7%

血糖
保健指導 18.3%
受診勧奨 1.6%

血圧
保健指導 9.3%
受診勧奨 I 6.6%
受診勧奨 II 2.1%



脂質
保健指導 26.0%
受診勧奨 I 24.7%
受診勧奨 II 4.3%

2015年度

健
保
連
平
均

血糖
保健指導 27.8%
受診勧奨 5.7%

血圧
保健指導 17.2%
受診勧奨 I 13.7%
受診勧奨 II 4.3%



脂質
保健指導 31.1%
受診勧奨 I 27.8%
受診勧奨 II 4.6%

血糖
保健指導 19.4%
受診勧奨 2.1%

血圧
保健指導 13.0%
受診勧奨 I 9.1%
受診勧奨 II 2.5%



脂質
保健指導 26.1%
受診勧奨 I 25.0%
受診勧奨 II 5.0%

2016年度

※40歳以上

【生活習慣・健康意識】

(被保険者)

定期的運動なし割合 (単位：%)		合計	男性	女性
合計		74.9	73.2	86.8
40～44歳		79.2	77.8	87.5
45～49歳		77.8	75.5	92.4
50～54歳		73.0	71.2	86.0
55～59歳		68.5	68.0	74.1
60～64歳		61.1	61.8	50.0
65～69歳		70.8	68.2	100.0
70～74歳		-	-	-
【再掲】	40～64歳	74.9	73.3	86.7
	65～74歳	70.8	68.2	100.0

歩くのが遅い割合 (単位：%)		合計	男性	女性
合計		50.9	50.2	55.6
40～44歳		56.0	54.2	66.3
45～49歳		52.0	51.5	55.1
50～54歳		47.6	47.3	50.0
55～59歳		47.1	48.0	37.0
60～64歳		43.1	42.6	50.0
65～69歳		45.8	45.5	50.0
70～74歳		-	-	-
【再掲】	40～64歳	51.0	50.3	55.6
	65～74歳	45.8	45.5	50.0

10kg増加した割合 20歳から (単位：%)		合計	男性	女性
合計		46.7	49.5	27.0
40～44歳		43.2	46.7	23.8
45～49歳		47.1	49.5	31.6
50～54歳		49.9	53.7	22.0
55～59歳		47.9	49.3	30.8
60～64歳		41.7	44.1	0.0
65～69歳		58.3	54.5	100.0
70～74歳		-	-	-
【再掲】	40～64歳	46.6	49.4	26.4
	65～74歳	58.3	54.5	100.0

3kg増減した割合 1年間で (単位：%)		合計	男性	女性
合計		26.9	26.3	30.7
40～44歳		31.3	30.8	34.2
45～49歳		31.1	30.3	36.7
50～54歳		24.8	25.2	22.0
55～59歳		18.2	18.5	14.8
60～64歳		13.9	11.8	50.0
65～69歳		17.4	14.3	50.0
70～74歳		-	-	-
【再掲】	40～64歳	27.0	26.5	30.5
	65～74歳	17.4	14.3	50.0

2016年度

※40歳以上

【生活習慣・健康意識】

(被保険者)

就寝前夕食の割合 (単位：%)		合計	男性	女性
合計		24.8	25.6	19.0
40～44歳		24.8	24.9	23.8
45～49歳		27.2	28.9	16.5
50～54歳		25.1	25.5	22.0
55～59歳		21.6	22.9	7.4
60～64歳		20.8	22.1	0.0
65～69歳		17.4	14.3	50.0
70～74歳		-	-	-
【再掲】	40～64歳	24.9	25.8	18.8
	65～74歳	17.4	14.3	50.0

夕食後間食の割合 (単位：%)		合計	男性	女性
合計		12.2	11.4	17.8
40～44歳		12.7	11.6	18.8
45～49歳		12.1	11.6	15.2
50～54歳		13.1	12.1	20.0
55～59歳		10.8	9.8	22.2
60～64歳		13.9	14.7	0.0
65～69歳		0.0	0.0	0.0
70～74歳		-	-	-
【再掲】	40～64歳	12.3	11.5	17.9
	65～74歳	0.0	0.0	0.0

朝食を抜く割合 (単位：%)		合計	男性	女性
合計		15.5	16.0	12.4
40～44歳		17.7	18.9	11.3
45～49歳		16.3	16.2	16.7
50～54歳		16.5	17.7	8.0
55～59歳		11.9	12.0	11.1
60～64歳		5.6	4.4	25.0
65～69歳		12.5	13.6	0.0
70～74歳		-	-	-
【再掲】	40～64歳	15.6	16.0	12.6
	65～74歳	12.5	13.6	0.0

早食いの割合 (単位：%)		合計	男性	女性
合計		32.4	33.7	23.1
40～44歳		32.1	34.5	18.8
45～49歳		36.4	38.3	24.1
50～54歳		30.4	30.4	30.0
55～59歳		31.2	32.0	22.2
60～64歳		20.8	20.6	25.0
65～69歳		26.1	28.6	0.0
70～74歳		-	-	-
【再掲】	40～64歳	32.4	33.8	23.3
	65～74歳	26.1	28.6	0.0

2016年度

※40歳以上

【生活習慣・健康意識】

(被保険者)

毎日飲酒する割合 (単位：%)	合計	男性	女性
合計	30.1	32.7	12.0
40～44歳	26.2	28.9	11.3
45～49歳	28.6	31.1	12.7
50～54歳	29.5	31.7	14.0
55～59歳	35.3	37.5	11.1
60～64歳	45.8	48.5	0.0
65～69歳	47.8	52.4	0.0
70～74歳	-	-	-
【再掲】			
40～64歳	29.9	32.5	12.1
65～74歳	47.8	52.4	0.0

3合以上飲酒割合 (単位：%)	合計	男性	女性
合計	5.9	6.4	1.3
40～44歳	7.0	7.9	1.9
45～49歳	6.1	6.8	0.0
50～54歳	5.1	5.3	3.3
55～59歳	4.6	4.9	0.0
60～64歳	8.6	8.9	0.0
65～69歳	0.0	0.0	0.0
70～74歳	-	-	-
【再掲】			
40～64歳	6.0	6.5	1.3
65～74歳	0.0	0.0	0.0

睡眠不足の割合 (単位：%)	合計	男性	女性
合計	31.5	29.8	43.4
40～44歳	29.0	26.8	41.3
45～49歳	29.4	27.3	43.0
50～54歳	37.2	34.9	54.0
55～59歳	35.7	35.9	33.3
60～64歳	16.9	16.4	25.0
65～69歳	26.1	23.8	50.0
70～74歳	-	-	-
【再掲】			
40～64歳	31.6	29.9	43.3
65～74歳	26.1	23.8	50.0

喫煙の割合 (単位：%)	合計	男性	女性
合計	23.0	24.7	10.7
40～44歳	22.7	24.7	11.3
45～49歳	22.3	24.5	8.6
50～54歳	24.9	27.4	6.0
55～59歳	21.0	20.9	22.2
60～64歳	29.7	30.0	25.0
65～69歳	20.8	22.7	0.0
70～74歳	0.0	0.0	0.0
【再掲】			
40～64歳	23.0	24.8	10.7
65～74歳	20.8	14.3	50.0

2016年度

※40歳以上

【生活習慣・健康意識】

(被保険者)

改善意欲がない割合 (単位：%)		合計	男性	女性	保健指導希望割合 (単位：%)		合計	男性	女性
合計		19.1	19.6	15.3	合計		35.7	34.4	45.0
40～44歳		19.0	18.6	21.3	40～44歳		35.2	33.2	46.3
45～49歳		19.6	20.6	12.7	45～49歳		35.0	34.4	39.2
50～54歳		16.9	17.0	16.0	50～54歳		30.8	28.8	46.0
55～59歳		21.0	22.2	7.4	55～59歳		41.4	40.7	48.1
60～64歳		20.8	22.1	0.0	60～64歳		40.3	36.8	100.0
65～69歳		17.4	19.0	0.0	65～69歳		56.5	57.1	50.0
70～74歳		-	-	-	70～74歳		-	-	-
【再掲】	40～64歳	19.1	19.6	15.4	【再掲】	40～64歳	35.4	34.1	45.0
	65～74歳	17.4	19.0	0.0		65～74歳	56.5	57.1	50.0

【生活習慣の他健保との比較】



健保連平均と比較して男性は全体に生活習慣が良く、
女性は運動習慣が少ないが、それ以外は良い

男性（40～74歳）

女性（40～74歳）

2016年度

アドバ
ンテ
スト
健
保

運動
26.8%
食事
25.6%



飲酒
32.7%
飲酒量
6.4%
喫煙
24.7%

運動
13.2%
食事
19.0%



飲酒
12.0%
飲酒量
1.3%
喫煙
10.7%

2015年度

健
保
連
平
均

運動
23.6%
食事
36.4%



飲酒
38.7%
飲酒量
7.2%
喫煙
36.9%

運動
19.5%
食事
26.9%



飲酒
14.2%
飲酒量
1.7%
喫煙
12.0%

【問診から把握した生活習慣】

運動：30分以上の運動習慣がある人の割合（高いほどよい）
食事ペース：食事ペースが早い人の割合（低いほどよい）
就寝前飲食：就寝前に飲食する人の割合（低いほどよい）

【問診から把握した生活習慣】

間食：夕食後に間食する人の割合（低いほどよい）
毎日飲酒：毎日飲酒する人の割合（低いほどよい）
飲酒量：飲酒時に3合以上飲む人の割合（低いほどよい）

【高リスク保有者】

2016年度
※40歳以上

(被保険者)

肥満 (単位：人)	服薬あり				服薬なし			
	受診勧奨判定値		保健指導判定値		受診勧奨判定値		保健指導判定値	
		うち喫煙者		うち喫煙者		うち喫煙者		うち喫煙者
脂質のみ	11	4	15	6	104	32	89	27
血圧のみ	6	0	3	1	11	2	17	2
血糖のみ	8	1	11	4	0	0	28	7
血圧+脂質	25	3	11	3	84	10	23	6
血糖+脂質	36	16	17	6	73	19	42	17
血糖+血圧	18	5	7	0	13	5	7	1
血糖+血圧+脂質	43	9	10	0	83	22	15	3

非肥満 (単位：人)	服薬あり				服薬なし			
	受診勧奨判定値		保健指導判定値		受診勧奨判定値		保健指導判定値	
		うち喫煙者		うち喫煙者		うち喫煙者		うち喫煙者
脂質のみ	6	1	8	2	109	26	141	22
血圧のみ	5	0	5	0	14	4	36	12
血糖のみ	4	2	7	0	2	0	86	11
血圧+脂質	3	1	2	0	51	9	19	4
血糖+脂質	9	5	6	0	57	14	56	16
血糖+血圧	3	0	5	0	4	1	11	0
血糖+血圧+脂質	11	2	3	2	42	14	11	4

※各健康リスクの受診勧奨判定値、保健指導判定値は厚生労働省「標準的な健診・保健指導プログラム」に準拠している。

【ジェネリック利用状況】

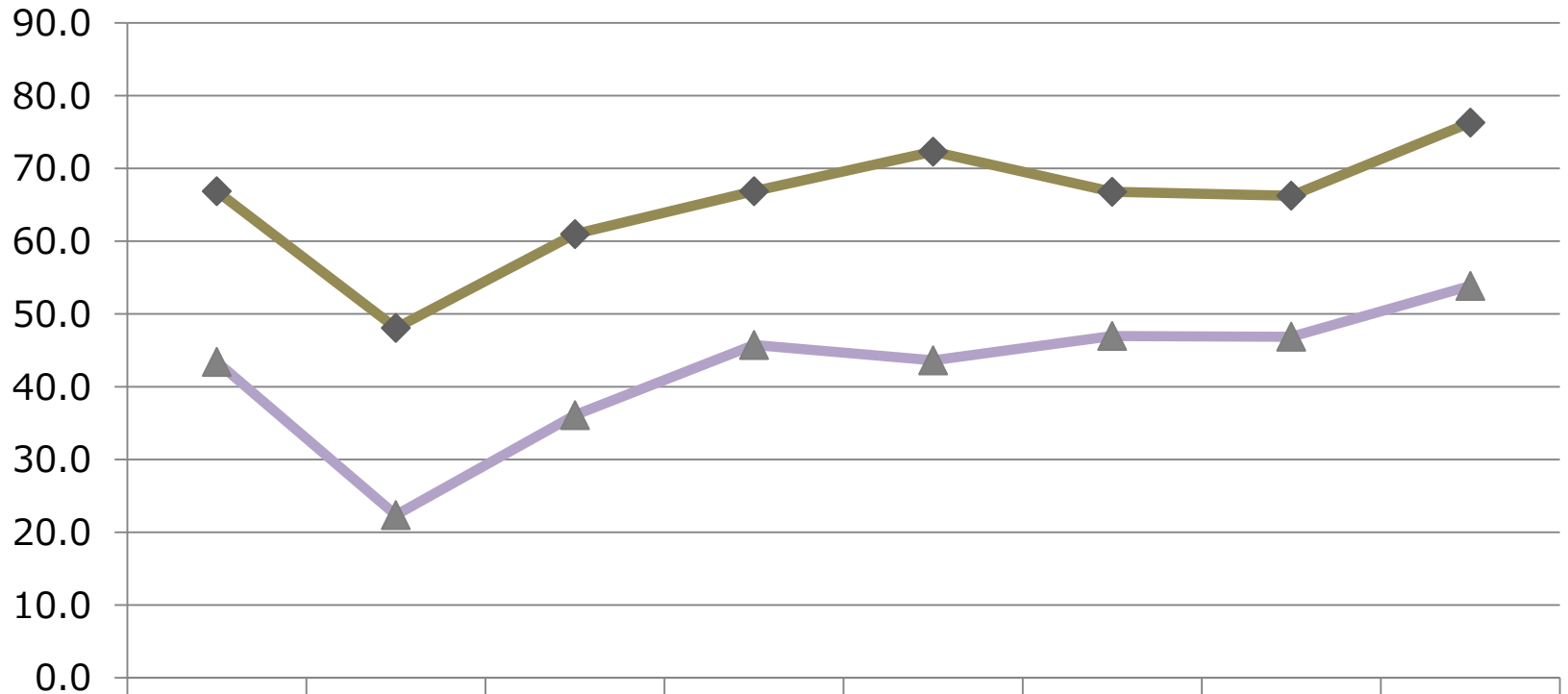
2015・2016年度

新基準数量ベース（院外処方のみ）

※ジェネリック医薬品が存在する医薬品のみを対象としたもの

(全体)

(単位：%)



◆ 数量2016	66.9	48.1	61.0	66.9	72.3	66.8	66.3	76.3
▲ 金額2016	43.4	22.4	36.1	45.7	43.6	47.0	46.9	53.8

【ジェネリック利用状況】

※2016年度

ジェネリック削減余地が大きい医薬品（金額順）

（切替が困難と想定される医薬品を除く）

（全体）

0-9歳

順位	漢字名称	薬効分類名	後発品漢字名称
1	ヒルドイドソフト軟膏0.3%	血液凝固阻止剤	エアリートクリーム0.3%
2	ヒルドイドローション0.3%	血液凝固阻止剤	エアリートクリーム0.3%
3	ムコダインDS50%	去たん剤	C-チステン細粒50%
4	メリアクトMS小児用細粒10% 100mg	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	セフジントレピボキシル小児用細粒10%「CH」100mg
5	オゼックス細粒小児用15% 150mg	合成抗菌剤	トスフロキサシントシル酸塩細粒小児用15%「タカ」150mg

40-49歳

順位	漢字名称	薬効分類名	後発品漢字名称
1	ヒルドイドソフト軟膏0.3%	血液凝固阻止剤	エアリートクリーム0.3%
2	モーラステープL40mg 10cm×14cm	鎮痛, 鎮痒, 収斂, 消炎剤	パッペンKパップ30mg 10cm×14cm
3	アレグラ錠60mg	その他のアレルギー用薬	フェキソフェナジン塩酸塩錠60mg「CEO」
4	静注用フロラン1.5mg	その他の循環器官用薬	エボプロステノール静注用1.5mg「タイオー」
5	ヒルドイドローション0.3%	血液凝固阻止剤	エアリートクリーム0.3%

10-19歳

順位	漢字名称	薬効分類名	後発品漢字名称
1	ヒルドイドソフト軟膏0.3%	血液凝固阻止剤	エアリートクリーム0.3%
2	ヒルドイドローション0.3%	血液凝固阻止剤	エアリートクリーム0.3%
3	アレックOD錠5.5mg	その他のアレルギー用薬	オロバタン塩酸塩錠5mg「杏林」
4	アレグラ錠60mg	その他のアレルギー用薬	フェキソフェナジン塩酸塩錠60mg「CEO」
5	ホクナリンテープ2mg	気管支拡張剤	ツロプテロールテープ2mg「日医工」

50-59歳

順位	漢字名称	薬効分類名	後発品漢字名称
1	モーラステープL40mg 10cm×14cm	鎮痛, 鎮痒, 収斂, 消炎剤	パッペンKパップ30mg 10cm×14cm
2	ヒルドイドソフト軟膏0.3%	血液凝固阻止剤	エアリートクリーム0.3%
3	アレグラ錠60mg	その他のアレルギー用薬	フェキソフェナジン塩酸塩錠60mg「CEO」
4	アサコール錠400mg	その他の消化器官用薬	メサラジン腸溶錠400mg「ファイザー」
5	ロキソニテープ100mg 10cm×14cm	鎮痛, 鎮痒, 収斂, 消炎剤	ロキソプロフェンNaテープ100mg「三友」10cm×14cm

20-29歳

順位	漢字名称	薬効分類名	後発品漢字名称
1	ヒルドイドローション0.3%	血液凝固阻止剤	エアリートクリーム0.3%
2	ヒルドイドソフト軟膏0.3%	血液凝固阻止剤	エアリートクリーム0.3%
3	アサコール錠400mg	その他の消化器官用薬	メサラジン腸溶錠400mg「ファイザー」
4	アレグラ錠60mg	その他のアレルギー用薬	フェキソフェナジン塩酸塩錠60mg「CEO」
5	クラビット錠500mg（レボフロキサシンとして）	合成抗菌剤	レボフロキサシン錠500mg「杏林」（レボフロキサシンとして）

60-69歳

順位	漢字名称	薬効分類名	後発品漢字名称
1	モーラステープL40mg 10cm×14cm	鎮痛, 鎮痒, 収斂, 消炎剤	パッペンKパップ30mg 10cm×14cm
2	モーラステープ20mg 7cm×10cm	鎮痛, 鎮痒, 収斂, 消炎剤	ケトプロフェンテープ20mg「日医工」7cm×10cm
3	ロキソニテープ100mg 10cm×14cm	鎮痛, 鎮痒, 収斂, 消炎剤	ロキソプロフェンNaテープ100mg「三友」10cm×14cm
4	バリエツ錠10mg	消化性潰瘍用剤	ラベプラゾールナトリウム錠10mg「CHOS」
5	タケブロンOD錠15.15mg	消化性潰瘍用剤	ランソプラゾールOD錠15mg「DK」

30-39歳

順位	漢字名称	薬効分類名	後発品漢字名称
1	ヒルドイドソフト軟膏0.3%	血液凝固阻止剤	エアリートクリーム0.3%
2	グリベック錠100mg	その他の腫瘍用薬	イマチニブ錠100mg「オーハラ」
3	アサコール錠400mg	その他の消化器官用薬	メサラジン腸溶錠400mg「ファイザー」
4	アレグラ錠60mg	その他のアレルギー用薬	フェキソフェナジン塩酸塩錠60mg「CEO」
5	ヒルドイドローション0.3%	血液凝固阻止剤	エアリートクリーム0.3%

70-74歳

順位	漢字名称	薬効分類名	後発品漢字名称
1	モーラステープL40mg 10cm×14cm	鎮痛, 鎮痒, 収斂, 消炎剤	パッペンKパップ30mg 10cm×14cm
2	ロキソニテープ100mg 10cm×14cm	鎮痛, 鎮痒, 収斂, 消炎剤	ロキソプロフェンNaテープ100mg「三友」10cm×14cm
3	グリベック錠100mg	その他の腫瘍用薬	イマチニブ錠100mg「オーハラ」
4	モーラステープ20mg 7cm×10cm	鎮痛, 鎮痒, 収斂, 消炎剤	ケトプロフェンテープ20mg「日医工」7cm×10cm
5	キサラン点眼液0.005%	眼科用剤	ラタプロスト点眼液0.005%「TS」

【健康課題への対策のまとめ】

【加入者構成】 今後想定される**50歳代増加**への対策

【疾病別医療費】 糖尿病等**生活習慣病**の重症化疾患への対策

【疾病別医療費】 年齢層と健康リスクに合わせた**糖尿病**への対策

【疾病別医療費】 **婦人科がん**への対策（早期発見・早期治療）

【疾病別医療費】 かぜ等、予防可能な**呼吸器疾患**への対策

【特定健診】 **被扶養者**の特定健診受診率向上への対策

【特定保健指導】 **被保険者**の特定保健指導の実施率向上への対策

【健康リスク】 禁煙支援等、**喫煙**への対策

【生活習慣】 定期的な**運動習慣づけ**の対策

【高リスク】 **医療機関での要治療者**に対する**受診勧奨等**の対策

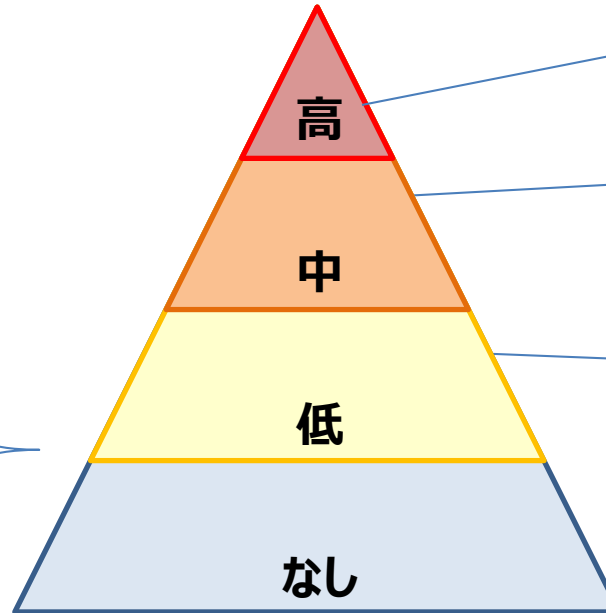
【第2期データヘルス計画（2018～2023年度）の保健事業】

※新たに実施を検討する保健事業

加入者全員に対応した保健事業

- 職場環境整備・コラボヘルス**
 - コラボヘルス推進会議・ヘルスアップ推進委員会
 - 事業主の健康経営支援(2018年度開始)
 - 事業所別の健康情報提供
- 情報提供・個別的情報提供**
 - 健保機関誌
 - 健保ホームページ
 - 健診結果自己診断シート
 - 健康ポータルサイト+インセンティブ提供
- 健康づくり**
 - ウォーキング(歩数計)事業
 - 禁煙(禁煙チャレンジ・禁煙外来補助)事業
- 医療費適正化**
 - 医療費通知
 - ジェネリック医薬品利用促進
- 施設助成・体育奨励等**
- 健康相談**
- その他**
 - 福利厚生「ベネフィット・ステーション」


健康リスク



健康リスクに対応した保健事業

- 保健指導**
 - 糖尿病性腎症重症化予防(2018年度開始)
 - 産業医療職による受診勧奨・保健指導
 - 特定保健指導(被保険者)
 - 特定保健指導(被扶養者)ICTの活用
 - 産業医療職による若年層の肥満対策
- 健診・検診**
 - 特定健診(被保険者)
 - 特定健診(被扶養者)
 - 巡回生活習慣病健診
 - 人間ドック
 - 巡回主婦健診
 - 婦人科検査
 - 脳ドック
 - 巡回歯科検診
 - インフルエンザ予防接種補助

【第2期データヘルス計画の主要施策と目標】

 当健保は特定保健指導の実施率向上を最優先課題とし、積極推進する

実施者↑の対策

規制緩和への対応

- 第3期特定健診等実施計画における規制緩和に対応

被保険者の対策

- 特定保健指導の事業所実施
- 離脱防止対策
- マンネリ対策

被扶養者の対策

- ICTによる特定保健指導
- 人間ドック当日の特定保健指導

特定保健指導の 実施率向上

(**実施者↑** / **対象者↓**)

<ポイント>

- 肥満を減らす
- 高血圧を減らす
- 高血糖を減らす
- 高脂質を減らす
- 喫煙を減らす
- 服薬者は正しく自己申告する

食事習慣改善
運動習慣改善
禁煙

対象者↓の対策

服薬確認

- 定期健診時の服薬確認の徹底
- レセプトから服薬者を判定後、医療職による服薬確認を実施

重症化予防

- 糖尿病性腎症重症化予防支援により健康リスクを低下

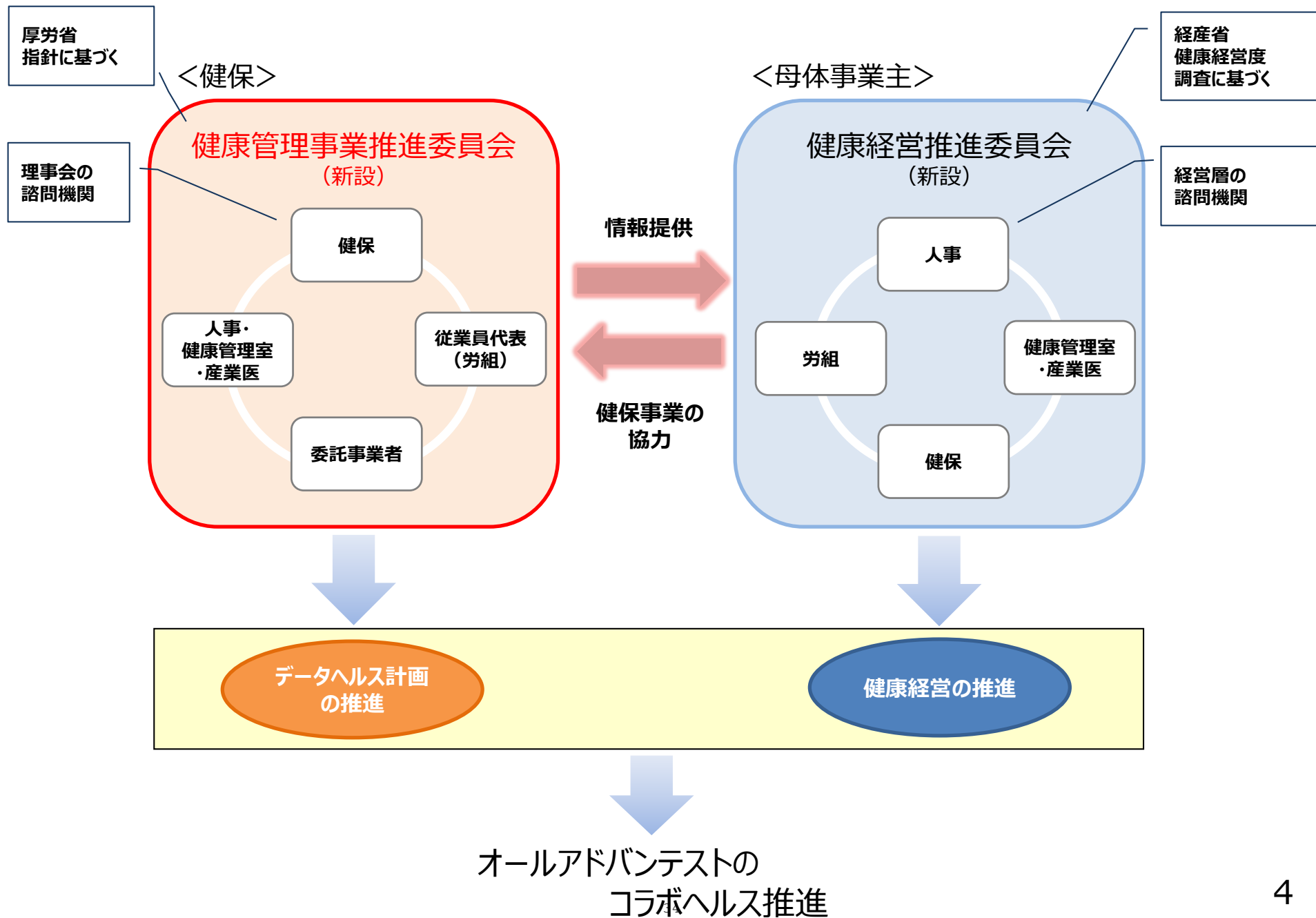
健康づくり

- ウォーキング事業の推進
- 禁煙事業の推進

若年層対策

- 事業主が実施する若年層対策(肥満予防等)により健康リスクを低下


【オールアドバンテストのコラボヘルス推進体制】



STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	ア	<p><加入者構成から見える健康課題></p> <p>①当健保の加入者のボリュームゾーンは、40歳代男性及び40歳代女性であり、前者は主に被保険者、後者は主に被扶養者である。</p> <p>②前期高齢者加入率は低い（男女計で100人程度）。</p> <p>③40歳代と比較して、30歳代が極端に少ない。</p>	➔	<p><左記健康課題への対応></p> <p>①現在のボリュームゾーンである40歳代は、まだ比較的健康リスクが低い層であるが、この層が今後50歳代に移行してくるため、早期の生活習慣病予防対策（特定保健指導や情報提供による早期改善）が重要である。</p> <p>②前期高齢者加入率が低いため、この層の一人当たり医療費が高額になると、前期高齢者納付金が大幅に増加するため、高額となる疾病をできる限り予防していくことが重要である。なお、生活習慣病以外が高額になるケースが多いことにも留意する。</p> <p>③30歳代には、現時点で当健保からの保健指導は実施していないため、事業主（健康管理室）による定期健診後措置と連携した若年層対策も必要である。</p>	✔
2	イ	<p><医療費から見える健康課題></p> <p>①当健保の一人当たり医療費は、概ね健保組合平均と同じ水準である。加齢とともに医療費は高額になり、特に50歳以上になると急激に医療費が増加する。</p> <p>②男女別に比較すると、概ね20～40歳代は女性が高額であり、50歳代以上は男性が高額になる。前者の理由は女性は比較的症状が軽いうちに多く医療機関にかかる一方で、男性は症状が重くなってから医療機関にかかることが想定される。</p> <p>③レセプト件数が0.4%程度の入院レセプトが、当健保の医療費全体の20%程度を占めている。</p>	➔	<p><左記健康課題への対応></p> <p>①加齢とともに増加する医療費（No.3に示すように、主に生活習慣病と新生物）への対策が重要である。生活習慣病は発症予防・重症化予防、新生物は早期発見・早期治療が重要である。</p> <p>②女性の20～40歳代の医療費が高額である点は、必要な医療を受診していると想定されるが、男性の50歳代以上については、必要な医療を受診しない結果、重症化して医療費が高額になることも想定されることから、早い段階での医療機関受診勧奨が重要である。</p> <p>③入院の要因となる疾病のうち、対策可能な疾病（生活習慣病や一部のがん）の対策を講じる。</p>	

3	ウ	<p><疾病別医療費から見える健康課題></p> <p>①当健保の医療費が高額となる疾病は、「呼吸器疾患」「新生物」「循環器疾患」の順である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被保険者は「新生物」「循環器」「消化器」 ・被扶養者は「呼吸器」「新生物」「筋骨格」 <p>※なお、内分泌代謝疾患も高額であるが、少数の高額医療費の方によるものであることに留意する。</p> <p>②年齢別では、0～19歳は「呼吸器」、20～39歳は「精神」、40～59歳は「新生物」「循環器」、60歳～は「筋骨格」「循環器」「新生物」の医療費が高額である。</p>	<p>➡ <左記健康課題への対応></p> <p>①医療費が高額、かつ、予防等の対策が可能と言われる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病（循環器、消化器、内分泌代謝） ・新生物（このうち、悪性新生物） ・呼吸器（このうち、インフルエンザ） <p>疾病の対策を講じる。なお、当健保として医療費は高額ではないが、一般的に高額になるとされる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・腎尿路（このうち、人工透析を伴う腎不全）についても生活習慣病の予防対策に含める。 <p>②「呼吸器」の対策は主に0～19歳を中心とするが、全年齢を対象にインフルエンザ予防を実施する。「生活習慣病の予防対策」は、医療費が発生する40歳以上に向けた特定保健指導を中心とするが、40歳未満からの対策も並行して実施する。</p> <p>なお、「精神」「筋骨格」については、医療費が高額であるものの、現在の当健保の保健事業では対策が困難な疾病を含んでいるため、前者は事業主による「メンタルヘルス」、後者は健保による「ウォーキング事業」を継続実施するなど、優先度を下げる。</p>	
4	エ	<p><高額医療費から見える健康課題></p> <p>①60歳代（前期高齢者及びその前の世代）で医療費が高額になる疾病のうち、対策可能と言われているものは「虚血性心疾患（心筋梗塞・狭心症）」「高血圧症」であり、いずれも「循環器」に含まれる。また、「糖尿病」は「内分泌代謝」に含まれるが、受診率が「高血圧症」の次に高い。</p>	<p>➡ <左記健康課題への対応></p> <p>①60歳代（前期高齢者及びその前の世代）に向けた対策として、「高血圧症」「糖尿病」、また、「虚血性心疾患」の既往がある方に対して継続して医療機関を受診してもらうための保健事業が重要である。当健保がこれまで実施している「前期高齢者向け相談事業」を見直し、改善していく必要がある。</p>	
5	オ	<p><特定健診・特定保健指導から見える健康課題></p> <p>①当健保の特定健診受診率は88%程度で推移しており、概ね高い水準であるが、単一健保組合目標である90%達成のため、被扶養者の受診率向上が必要である。</p> <p>②特定保健指導実施率は45%程度であり、健保組合平均は超えているが経年で実施率が低下している。</p>	<p>➡ <左記健康課題への対応></p> <p>①被扶養者の特定健診受診率向上対策を講じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診の利便性見直し（医療機関や予約方法） ・健診メニューの見直し（魅力的なメニュー） ・未受診者への適切なタイミングでのリマインド ・連続未受診者（一度も受診しない方を含む）の行動変容を促す施策（郵送健診やインセンティブ） ・未受診である理由の把握（アンケート） <p>②特定保健指導実施率向上対策を重点実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被保険者は抜本的に方式及び委託事業者を見直し、内製（健康管理室、関係会社の医療職）委託（事業主調整を積極的に実施する事業者）のベストミックス体制を講じるとともに、経年該当者へのマンネリ対応を並行して実施 ・被扶養者は遠隔型（ICT）の導入 	

6	カ	<p><健康リスクから見える健康課題> ※当健保の被保険者の保有する健康リスクは、健保組合平均と比較すると概ね低いが、一定数の健康リスク保有率であるとともに、今後の50歳代の増加により、課題が大きくなると想定している。</p> <p>①腹囲：男性の50.5%がリスク保有（40歳で45%） ②HbA1c：男性の26.6%がリスク保有（加齢で増加） ③収縮期血圧：男性の27.9%がリスク保有（加齢で増加） ④LDL-C：男性の54.8%がリスク保有（40歳で53.7%）</p>	<p>➔ <左記健康課題への対応> ①～④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に、男性の健康リスクを低下させることが重要 肥満、脂質は40歳ですでに50%程度が保有していることから、40歳未満からの対策も必要。血圧、血糖は加齢とともに増加するので、40歳代からの対策により、50歳代で健康リスクが増加しないことが重要。 ・女性は、男性と比較すると健康リスク保有率は低いが、50歳以上で急激に増加するため、40歳代からの対策の中で、情報提供や啓発事業を検討していく。 	
7	キ	<p><生活習慣・改善意識から見える健康課題> ※当健保の被保険者の生活習慣は、健保組合平均と比較すると概ね良いが、一定数の悪い生活習慣保有率であるとともに、今後の50歳代の増加により、健康リスクが増加すると想定している。</p> <p>①定期的な運動習慣がない割合：男性73.2%、女性86.8% ②就寝前に夕食をとる割合：男性25.6%、女性19.0% ③毎日飲酒する割合：男性32.7%、女性12.0% ④睡眠不足の割合：男性29.8%、女性43.4% ⑤喫煙の割合：男性24.7%、女性10.7% ⑥改善意欲がない割合：男性19.6%、女性15.3%</p>	<p>➔ <左記健康課題への対応> ①～④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動、食事、飲酒習慣の改善に資する情報提供や啓発事業を実施する（事業主との連携を含む）。 ・女性の40～50歳代の睡眠不足が多いことから、睡眠不足が身体に与える影響などの啓発事業を検討する（事業主との連携を含む）。 <p>⑤喫煙対策として、事業主の受動喫煙対策に加えて禁煙チャレンジや禁煙外来補助、また、啓発事業を検討する。</p> <p>⑥改善意欲がない方に対する行動変容に資する施策（効果的なインセンティブなど）を検討する。</p>	
8	ク	<p><高リスク保有者から見える健康課題> ①血糖・血圧・脂質の3つの受診勧奨判定値以上の健康リスクを保有しているにもかかわらず医療機関を受診していない方が存在する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肥満（83人、うち22人が喫煙者） ・非肥満（42人、うち14人が喫煙者） 	<p>➔ <左記健康課題への対応> ①健康リスクが重なる、いわゆる「メタボリックドミノ」となる方であるため、早期の医療機関受診勧奨を実施する。</p> <p>なお、健康管理室による支援が行われている方を含むことから、対策が重ならないよう留意する。</p>	
9	ケ	<p><ジェネリック利用状況から見える健康課題> ①数量ベース（院外処方）の利用率は66.9%（2016年度）であり、現時点で国が定める目標70%を達成している。一方で、利用率が低い年齢層として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10歳代と40～50歳代が挙げられ、特に後者は医療費の削減余地が大きい <p>なお、10歳未満は医療費が無料である等から利用率が低いと想定される。</p> <p>また、削減余地が大きい医薬品のうち、よく使われる医薬品（花粉症や湿布、軟膏など）が上位である。</p>	<p>➔ <左記健康課題への対応> ①「差額通知」「希望シール」の継続のほか、より対象を絞った対策（40～50歳代に向けた啓発や、医薬品を絞った啓発、また、利用促進キャンペーン等）を検討する。</p>	

10	コ	<p><健康課題と保健事業></p> <p>①加入者全員に対応した保健事業 (ポピュレーションアプローチ)</p> <p>②健康リスクに対応した保健事業 (ハイリスクアプローチ)</p> <p>を組み合わせ、全員に支援が行き届く保健事業を実施。その際に、事業主(人事、産業医、健康管理室)及び従業員代表(労組)と強りに連携し、オールアドバンテストのコラボヘルスを推進。</p>	➔	<p><重点実施事項></p> <p>①当健保では、特定保健指導の実施率向上を最優先課題とし、積極推進する。その理由として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・40歳代が多く、今後、50歳代が増加 ・肥満率が高く、40歳時点で多くの健康リスクを保有 ・特定保健指導の対象者を減少させる他の対策をトータルで実施することが、実施率向上に寄与が挙げられる。その際に、事業主(人事、産業医、健康管理室)及び従業員代表(労組)と強りに連携し、オールアドバンテストのコラボヘルスを推進。
----	---	--	---	---

基本情報

No.	特徴	対策検討時に留意すべき点

保健事業の実施状況

No.	特徴	対策検討時に留意すべき点

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的

【目的：加入者の健康増進及び医療費の適正化】

事業全体の目標

【目標：加入者の行動変容を以下の指標で評価（評価指標）】

- ①加入者の健康意識の向上（問診から、改善しているまたは予定がある）
 - ②加入者の生活習慣の改善（問診から、食事、運動、喫煙、飲酒、睡眠）
 - ③加入者の健康リスクの低下（検査値から、肥満、血糖、血圧、脂質）
 - ④加入者の医療費の低下（レセプトから、入院・外来・調剤・歯科）
- ※なお、医療費の低下は長期的な視点をもとにした評価が必要

事業の一覧

職場環境の整備

予算措置なし	健康管理事業推進委員会（情報共有会議）
予算措置なし	健康経営推進委員会（事業主の健康経営推進支援）
予算措置なし	事業所別の健康情報提供（健康白書）

加入者への意識づけ

特定保健指導事業	健康ポータルサイト・インセンティブ提供（健康増進事業）
保健指導宣伝	健診結果自己診断シート提供（情報提供事業）
保健指導宣伝	前期高齢者向け生活訪問指導（健康教育事業）
保健指導宣伝	ホームページ（広報・啓発）
疾病予防	禁煙チャレンジ・禁煙外来補助（禁煙推進事業）
体育奨励	ウォーキング事業（運動推進事業）
その他	ジェネリック医薬品利用促進（医療費適正化事業）
その他	医療費通知（医療費適正化事業）

個別の事業

特定健康診査事業	特定健康診査（被保険者）
特定健康診査事業	特定健康診査（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導
疾病予防	巡回生活習慣病健診
疾病予防	人間ドック
疾病予防	巡回主婦健診
疾病予防	婦人科検査
疾病予防	脳ドック
疾病予防	巡回歯科検診（歯科保健事業）
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助（感染症予防事業）
疾病予防	若年肥満者等に対する疾病予防支援
直営保養所	福利厚生事業
予算措置なし	糖尿病性腎症の重症化予防支援・医療機関の受診勧奨支援
予算措置なし	健康管理室による支援（産業保健との連携）

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	注2) 事業名	対象者				注3) 実施主体	注4) プロセス分類	実施方法	注5) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者									
職場環境の整備																
予算措置なし	1		健康管理事業新推進委員会(規情報共有会議)	全て	男女	0~74	加入者全員	3	シ	健保理事会の諮問会議	ア	事業主(人事、健康管理室、産業医)及び従業員代表、健保組合の情報共有会議	0	●健康管理事業推進委員会設置及び開催(2018年8月から)	事業主(人事、健康管理室、産業医)及び従業員代表、健保組合の情報共有会議	<健康課題と保健事業> ①加入者全員に対応した保健事業(ポピュレーションアプローチ) ②健康リスクに対応した保健事業(ハイリスクアプローチ) を組み合わせ、全員に支援が行き届く保健事業を実施。 その際に、事業主(人事、産業医、健康管理室)及び従業員代表(労組)と強気に連携し、オールアドバンテストのコラボヘルスを推進。
	開催回数(【実績値】 - 【目標値】 令和3年度：6回) 2か月に1回を目安として開催予定												本事業は情報共有を目的としているため(アウトカムは設定されていません)			
	1			健康経営推進新委員会(事業主の健康経営推進支援)	母体企業	男女	18~74	被保険者	2	シ	経営層の諮問会議	ア	母体事業主が開催する表題会議に健保理事長が参加	0	●母体事業主が開催する表題会議に健保理事長が参加(2018年9月から)	事業主(人事、健康管理室、産業医)及び労組、健保理事長の情報共有会議
参加回数(【実績値】 - 【目標値】 令和3年度：12回)-												本事業は情報共有を目的としているため(アウトカムは設定されていません)				
1			事業所別の健康情報提供(健康白書)	全て	男女	18~74	被保険者、被扶養者	1	エ	事業所との健康課題共有 ・課題の明確化のため、厚労省等が提供する「健康スコアリングレポート」と当健保が作成する「事業所別健康スコアリングレポート(仮称：健康白書)」を組み合わせ、情報提供し、具体的な改善アクションにつなげていく。	ア、イ	・データ分析(事業所、部署ごと)	0	●パイロットスタディ(試行及び意見聴取)	事業所との健康課題共有と、具体的な改善アクション	<健康課題と保健事業> ①加入者全員に対応した保健事業(ポピュレーションアプローチ) ②健康リスクに対応した保健事業(ハイリスクアプローチ) を組み合わせ、全員に支援が行き届く保健事業を実施。 その際に、事業主(人事、産業医、健康管理室)及び従業員代表(労組)と強気に連携し、オールアドバンテストのコラボヘルスを推進。
健康白書作成(【実績値】 - 【目標値】 令和3年度：1回)平成30年度はパイロットスタディーを実施												今後、具体的な改善アクションを事業所別に設定し、個別にアウトカムを設定(アウトカムは設定されていません)				
加入者への意識づけ																

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	注2) 事業名	対象者				注3) 実施主体	注4) プロセス分類	実施方法	注5) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者									
アウトプット指標													アウトカム指標			
特定保健指導事業	2,3	新規	健康ポータルサイト・インセンティブ提供(健康増進事業)	全て	男女	18～74	加入者全員	1	ア,エ,ケ	ICTを活用した健康増進支援サービスを導入することで幅広い対象者にポピュレーションアプローチを実施し、加入者の意識・行動変容を促し、健康保持増進、医療費適正化を図る。 ※同サービスにおいて、厚生労働省が策定するインセンティブ・ガイドラインに準拠した個人向けのインセンティブを提供する。	ア,ウ	外部委託による実施(健康ポータルサイト及び個人向けインセンティブ事業の導入)	-	●加入者の行動変容に資する健康ポータルサイト及びインセンティブ提供事業の検討及び事業化	●個人に合わせた情報提供及び健康増進コンテンツの提供により、具体的な行動変容を促す ●健康ポータルサイトの活用促進(広報を積極的に実施)	<p><健康リスクから見える健康課題> ※当健保の被保険者の保有する健康リスクは、健保組合 平均と比較すると概ね低いが、一定数の健康リスク 保有率であるとともに、今後の50歳代の増加により、 課題が大きくなると想定している。 ①腹囲：男性の50.5%がリスク保有(40歳で45%) ②HbA1c：男性の26.6%がリスク保有(加齢で増加) ③収縮期血圧：男性の27.9%がリスク保有(加齢で増加) ④LDL-C：男性の54.8%がリスク保有(40歳で53.7%)</p> <p><生活習慣・改善意識から見える健康課題> ※当健保の被保険者の生活習慣は、健保組合平均と比較 すると概ね良いが、一定数の悪い生活習慣保有率である とともに、今後の50歳代の増加により、健康リスクが 増加すると想定している。 ①定期的な運動習慣がない割合：男性73.2%、女性86.8% ②就寝前に夕食をとる割合：男性25.6%、女性19.0% ③毎日飲酒する割合：男性32.7%、女性12.0% ④睡眠不足の割合：男性29.8%、女性43.4% ⑤喫煙の割合：男性24.7%、女性10.7% ⑥改善意欲がない割合：男性19.6%、女性15.3%</p>
健康増進アプリの登録率(【実績値】 - 【目標値】令和3年度：15%)登録率=登録者/ID発行者数													健康増進アプリの活用度(【実績値】 - 【目標値】令和3年度：15%)活用度=活用者/登録者数 活用者：食事記録・歩数記録を実施した者			
保健指導宣伝	2,3,4	既存	健診結果自己診断シート提供(情報提供事業)	全て	男女	18～74	基準該当者	1	エ,オ		ウ	委託事業者が提供する健診結果自己診断シートを提供		●対象者に対する情報提供 ●専門職からの説明など、さらなる活用を検討 今年度実施しない理由：検討段階であるため	情報提供により、個人に合わせた行動変容を促す	<p><健康リスクから見える健康課題> ※当健保の被保険者の保有する健康リスクは、健保組合 平均と比較すると概ね低いが、一定数の健康リスク 保有率であるとともに、今後の50歳代の増加により、 課題が大きくなると想定している。 ①腹囲：男性の50.5%がリスク保有(40歳で45%) ②HbA1c：男性の26.6%がリスク保有(加齢で増加) ③収縮期血圧：男性の27.9%がリスク保有(加齢で増加) ④LDL-C：男性の54.8%がリスク保有(40歳で53.7%)</p>
対象者への配布率(【実績値】 - 【目標値】令和3年度：100%)配布者/対象者 ※対象者の基準及び情報提供内容は毎年見直し(なお、健康ポータルサイトへの統合も想定)													今後、配布者からのアンケート(行動変容につながったか等)を取得し、設定(アウトカムは設定されていません)			
3,4,5,6	新規	前期高齢者向け生活訪問指導(健康教育事業)	全て	男女	65～74	基準該当者,定年退職予定者,任意継続者	1	オ,ク	前期高齢者に対する訪問型の保健指導(生活習慣、服薬、健康相談など) なお、前期高齢者の前の世代(いわゆるシニア層)を含めるかを検討	エ,オ,ク	外部委託		●前期高齢者向け生活訪問指導(指導内容及び対象、アウトカム測定方法などの見直し) 今年度実施しない理由：-	前期高齢者の行動変容を促す事業(前期高齢者の一人当たり医療費を削減することによる前期高齢者納付金の削減も目標とする)	<p><高額医療費から見える健康課題> ①60歳代(前期高齢者及びその前の世代)で医療費が高額になる疾病のうち、対策可能と言われているものは 「虚血性心疾患(心筋梗塞・狭心症)」「高血圧症」であり、いずれも「循環器」に含まれる。また、「糖尿病」は「内分泌代謝」に含まれるが、受診率が「高血圧症」の次に高い。</p>	
実施者数(【実績値】 - 【目標値】令和3年度：15人)-													重症化疾患発症者率(【実績値】 - 【目標値】令和3年度：0%)実施翌年度の重症化疾患発症者数/実施者数 ※重症化疾患の定義は、「生活習慣病による入院」及び「人工透析の導入」とする。			

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	注2) 事業名	対象者				注3) 実施主体	注4) プロセス分類	実施方法	注5) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者									
アウトプット指標												アウトカム指標				
	2	既存	ホームページ(広報・啓発)	全て	男女	0~74	加入者全員	1	工	●健保組合の仕組み・各種制度や保健事業(データヘルス計画)等の広報の充実 ●よくある質問の充実を図る ●健康ポータルサイト等のコンテンツの導入・掲載	ス	外部委託による実施	●前年度の実施内容を見直し、継続		加入者の行動変容を促す、または健保保健事業の周知に資する記事の更新	<生活習慣・改善意識から見える健康課題> ※当健保の被保険者の生活習慣は、健保組合平均と比較 すると概ね良いが、一定数の悪い生活習慣保有率である とともに、今後の50歳代の増加により、健康リスクが増加すると想定している。 ①定期的な運動習慣がない割合：男性73.2%、女性86.8% ②就寝前に夕食をとる割合：男性25.6%、女性19.0% ③毎日飲酒する割合：男性32.7%、女性12.0% ④睡眠不足の割合：男性29.8%、女性43.4% ⑤喫煙の割合：男性24.7%、女性10.7% ⑥改善意欲がない割合：男性19.6%、女性15.3%
更新回数【実績値】 - 【目標値】 令和3年度：12回)データヘルス計画または健康増進に資する記事の更新												本事業単独でのアウトカム測定が困難(アウトカムは設定されていません)				
疾病予防	2,5	新規	禁煙チャレンジ・禁煙外来補助(禁煙推進事業)	全て	男女	20~74	基準該当者	1	ア,エ,ケ	・厚労省モデル事業(成果運動型報酬事業(PFS))にて実施 ・喫煙中の希望者に対してオンライン禁煙支援を実施	ア,イ	・外部委託による実施	●参加促進対策、アウトカムの測定		●禁煙・減煙成功者の増加 ●健保全体の喫煙率の低下	<生活習慣・改善意識から見える健康課題> ※当健保の被保険者の生活習慣は、健保組合平均と比較 すると概ね良いが、一定数の悪い生活習慣保有率である とともに、今後の50歳代の増加により、健康リスクが増加すると想定している。 ①定期的な運動習慣がない割合：男性73.2%、女性86.8% ②就寝前に夕食をとる割合：男性25.6%、女性19.0% ③毎日飲酒する割合：男性32.7%、女性12.0% ④睡眠不足の割合：男性29.8%、女性43.4% ⑤喫煙の割合：男性24.7%、女性10.7% ⑥改善意欲がない割合：男性19.6%、女性15.3%
事業参加者数【実績値】 - 【目標値】 令和3年度：15人-												禁・減煙成功率【実績値】 - 【目標値】 令和3年度：50%-				
体育奨励	2,5	既存	ウォーキング事業(運動推進事業)	全て	男女	0~74	加入者全員	1	ア,ク,ケ		ア		●前年度事業を見直し、改善 今年度実施しない理由：-		参加者の運動習慣づくり(単なる歩数計配布でなく、具体的な行動変容に繋げる)	<生活習慣・改善意識から見える健康課題> ※当健保の被保険者の生活習慣は、健保組合平均と比較 すると概ね良いが、一定数の悪い生活習慣保有率である とともに、今後の50歳代の増加により、健康リスクが増加すると想定している。 ①定期的な運動習慣がない割合：男性73.2%、女性86.8% ②就寝前に夕食をとる割合：男性25.6%、女性19.0% ③毎日飲酒する割合：男性32.7%、女性12.0% ④睡眠不足の割合：男性29.8%、女性43.4% ⑤喫煙の割合：男性24.7%、女性10.7% ⑥改善意欲がない割合：男性19.6%、女性15.3%
参加者数【実績値】 - 【目標値】 令和3年度：800人)今後、他の健康増進事業との統合も検討												今後、健康増進事業と統合する際にアウトカムを設定(アウトカムは設定されていません)				
その他	7	既存	ジェネリック医薬品利用促進(医療費適正化事業)	全て	男女	0~74	基準該当者	1	キ,ク	以下の総合的なジェネリック医薬品の利用促進対策を実施。 ・ジェネリック利用希望シールの配布(被保険者証貼付用) ・利用促進のための広報、啓発促進(機関誌や健康ポータルサイトの活用) ・事業所と連携した利用促進対策(情報提供等) ・上記に資するジェネリック医薬品に関する利用状況のデータ分析	ス	基本的に健保主体で実施するが、今後、広報・啓発等について事業所と連携することを検討する。	●前年度の実施内容を見直し、継続		●前年度事業の評価、見直し検討、改善及び事業の継続実施 ●ジェネリック差額通知の実施検討	<ジェネリック利用状況から見える健康課題> ①数量ベース(院外処方)の利用率は66.9%(2016年度)であり、現時点で国が定める目標70%を達成している。 一方で、利用率が低い年齢層として・10歳代と40~50歳代が挙げられ、特に後者は医療費の削減余地が大きい なお、10歳未満は医療費が無料である等から利用率が低いと想定される。 また、削減余地が大きい医薬品のうち、よく使われる医薬品(花粉症や湿布、軟膏など)が上位である。
通知回数【実績値】 - 【目標値】 令和3年度：2回)医療費通知と一体化しているなど利用者にとって利便性の高い方式の導入を予定												利用率【実績値】 - 【目標値】 令和3年度：76%)数量ベース(院外処方のみ)※年間				

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	注2) 事業名	対象者				注3) 実施主体	注4) プロセス分類	実施方法	注5) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者									
アウトプット指標												アウトカム指標				
	2,8	既存	医療費通知(医療費適正化事業)	全て	男女	0~74	基準該当者	1	ス	毎月医療費実績明細書(被保険者1世帯単位)を送付する。	ス	外部委託による実施		●前年度の実施内容を見直し、継続	医療費に対する意識啓発	<p><医療費から見える健康課題></p> <p>①当健保の一人当たり医療費は、概ね健保組合平均と同じ水準である。加齢とともに医療費は高額になり、特に50歳以上になると急激に医療費が増加する。</p> <p>②男女別に比較すると、概ね20~40歳代は女性が高額であり、50歳代以上は男性が高額になる。前者の理由は女性は比較的症状が軽いうちに多く医療機関にかかる一方で、男性は症状が重くなってから医療機関にかかることが想定される。</p> <p>③レセプト件数が0.4%程度の入院レセプトが、当健保の医療費全体の20%程度を占めている。</p>
通知回数(【実績値】 - 【目標値】 令和3年度：2回)※利用者にとって利便性の高い方式への変更を予定												本事業単独でのアウトカム測定が困難(アウトカムは設定されていません)				

個別の事業

特定健康診査事業	3	既存	特定健康診査(被保険者)	全て	男女	40~74	被保険者	1	イ,オ,カ,キ,ク	以下により実施 ・事業主が実施する定期健康診断 ・人間ドック(健保において費用補助)	ア,エ,オ,ク	外部委託による実施		●前年度の実施内容を見直し、継続(もれない事業主健診データの受領)	健康リスクの早期発見	<p><特定健診・特定保健指導から見える健康課題></p> <p>①当健保の特定健診受診率は88%程度で推移しており、概ね高い水準であるが、単一健保組合目標である90%達成のため、被扶養者の受診率向上が必要である。</p> <p>②特定保健指導実施率は45%程度であり、健保組合平均は超えているが経年で実施率が低下している。</p>
----------	---	----	--------------	----	----	-------	------	---	-----------	--	---------	-----------	--	-----------------------------------	------------	--

受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和3年度：97.2%)- 積極的支援該当率(【実績値】 - 【目標値】 令和3年度：15%)国への報告(項番33)で評価 ※評価は未滿で実施

- 動機付け支援該当率(【実績値】 - 【目標値】 令和3年度：12%)国への報告(項番38)で評価 ※評価は未滿で実施

特定保健指導事業	3	既存(法定)	特定保健指導(被扶養者)	全て	男女	40~74	加入者全員	1	イ	以下により実施(健保において費用補助) ・巡回主婦健診 ・人間ドック	ス	外部委託による実施		<p>●前年度の実施内容を見直し、継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診の利便性見直し(医療機関や予約方法) ・健診メニューの見直し(魅力的なメニュー) ・未受診者への適切なタイミングでのリマインド ・連続未受診者(一度も受診しない方を含む)の行動変容を促す施策(郵送健診やインセンティブ) ・未受診である理由の把握(アンケート) 	健康リスクの早期発見	<p><特定健診・特定保健指導から見える健康課題></p> <p>①当健保の特定健診受診率は88%程度で推移しており、概ね高い水準であるが、単一健保組合目標である90%達成のため、被扶養者の受診率向上が必要である。</p> <p>②特定保健指導実施率は45%程度であり、健保組合平均は超えているが経年で実施率が低下している。</p>
----------	---	--------	--------------	----	----	-------	-------	---	---	--	---	-----------	--	--	------------	--

受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和3年度：77.1%)- 積極的支援該当率(【実績値】 - 【目標値】 令和3年度：5%)国への報告(項番33)で評価 ※評価は未滿で実施

- 動機付け支援該当率(【実績値】 - 【目標値】 令和3年度：8%)国への報告(項番38)で評価 ※評価は未滿で実施

特定保健指導事業	3,4	既存(法定)	特定保健指導	全て	男女	40~74	基準該当者	1	ア,イ,ウ,エ,オ	ICTを活用した特定保健指導を実施	ア,イ,ウ,コ	健康管理室、関係会社の医療職とのコラボヘルス及び外部委託による実施		<p>●特定保健指導実施率向上対策を重点実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被保険者は抜本的に方式及び委託事業者を見直し、内製(健康管理室、関係会社の医療職)委託(事業主調整を積極的に実施する事業者)のベストミックス体制を講じるとともに、経年該当者へのマンネリ対応を並行して実施 ・被扶養者は遠隔型(ICT)の導入 	特定保健指導該当者の減少(アウトプットとアウトカムの両立)	<p><特定健診・特定保健指導から見える健康課題></p> <p>①当健保の特定健診受診率は88%程度で推移しており、概ね高い水準であるが、単一健保組合目標である90%達成のため、被扶養者の受診率向上が必要である。</p> <p>②特定保健指導実施率は45%程度であり、健保組合平均は超えているが経年で実施率が低下している。</p>
----------	-----	--------	--------	----	----	-------	-------	---	-----------	-------------------	---------	-----------------------------------	--	--	-------------------------------	--

実施率(【実績値】 - 【目標値】 令和3年度：55.1%)被保険者と被扶養者の合計 ※なお、目標値は単一健保目標の55%にしているが、60%以上の達成を目指す

実施者の改善率(【実績値】 - 【目標値】 令和3年度：35%)特定保健指導実施者の翌年度の改善率 国への報告の項番31で評価

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	注2) 事業名	対象者				注3) 実施主体	注4) プロセス分類	実施方法	注5) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者									
アウトプット指標												アウトカム指標				
疾病予防	3	既存	巡回生活習慣病健診	全て	男女	35～74	被保険者	3	イ,ウ	労働安全衛生法の法定健診と一体的に実施 受診費用全額負担 要医療者に対して健康管理室による受診勧奨を実施	ア	事業所に健診車を巡回させ実施（肺ガン・大腸ガン・超音波検査含む）	-	●前年度の実施内容を見直し、継続	健康リスクの早期発見	<疾病別医療費から見える健康課題> ①当健保の医療費が高額となる疾病は、「呼吸器疾患」 「新生物」「循環器疾患」の順である。 ・被保険者は「新生物」「循環器」「消化器」 ・被扶養者は「呼吸器」「新生物」「筋骨格」 ※なお、内分泌代謝疾患も高額であるが、少数の高額医療費の方によるものであることに留意する。 ②年齢別では、0～19歳は「呼吸器」、20～39歳は「精神」 40～59歳は「新生物」「循環器」、60歳～は「筋骨格」 「循環器」「新生物」の医療費が高額である。
受診者数(【実績値】 - 【目標値】 令和3年度：750人)※目標値は対象者数をもとに毎年見直し												本事業単独でのアウトカム測定が困難 (アウトカムは設定されていません)				
	3	既存	人間ドック	全て	男女	35～74	被保険者,被扶養者	1	イ,ウ	受診費用の一部負担	ウ,コ	外部委託による実施	-	●前年度の実施内容を見直し、継続	健康リスクの早期発見	<疾病別医療費から見える健康課題> ①当健保の医療費が高額となる疾病は、「呼吸器疾患」 「新生物」「循環器疾患」の順である。 ・被保険者は「新生物」「循環器」「消化器」 ・被扶養者は「呼吸器」「新生物」「筋骨格」 ※なお、内分泌代謝疾患も高額であるが、少数の高額医療費の方によるものであることに留意する。 ②年齢別では、0～19歳は「呼吸器」、20～39歳は「精神」 40～59歳は「新生物」「循環器」、60歳～は「筋骨格」 「循環器」「新生物」の医療費が高額である。
受診者数(【実績値】 - 【目標値】 令和3年度：1,000人)※目標値は対象者数をもとに毎年見直し												本事業単独でのアウトカム測定が困難 (アウトカムは設定されていません)				
	3	既存	巡回主婦健診	全て	女性	30～74	被扶養者	1	イ	全国の公共施設等に健診車を巡回させ実施 (肺ガン・大腸ガン・超音波・婦人科検査含む)	キ	外部委託による実施	-	●前年度の実施内容を見直し、継続	健康リスクの早期発見	<疾病別医療費から見える健康課題> ①当健保の医療費が高額となる疾病は、「呼吸器疾患」 「新生物」「循環器疾患」の順である。 ・被保険者は「新生物」「循環器」「消化器」 ・被扶養者は「呼吸器」「新生物」「筋骨格」 ※なお、内分泌代謝疾患も高額であるが、少数の高額医療費の方によるものであることに留意する。 ②年齢別では、0～19歳は「呼吸器」、20～39歳は「精神」 40～59歳は「新生物」「循環器」、60歳～は「筋骨格」 「循環器」「新生物」の医療費が高額である。
受診者数(【実績値】 - 【目標値】 令和3年度：800人)※目標値は対象者数をもとに毎年見直し												本事業単独でのアウトカム測定が困難 (アウトカムは設定されていません)				
	3	既存	婦人科検査	全て	女性	30～74	被保険者,被扶養者	1	イ,ウ	実施方法を見直し、継続 また、当健保の婦人科検査の対象外である20歳代の女性に向けて、自治体が実施する子宮頸がん検診の積極的な受診勧奨を実施	キ	外部委託による実施	-	●前年度の実施内容を見直し、継続	婦人科疾患の早期発見	<疾病別医療費から見える健康課題> ①当健保の医療費が高額となる疾病は、「呼吸器疾患」 「新生物」「循環器疾患」の順である。 ・被保険者は「新生物」「循環器」「消化器」 ・被扶養者は「呼吸器」「新生物」「筋骨格」 ※なお、内分泌代謝疾患も高額であるが、少数の高額医療費の方によるものであることに留意する。 ②年齢別では、0～19歳は「呼吸器」、20～39歳は「精神」 40～59歳は「新生物」「循環器」、60歳～は「筋骨格」 「循環器」「新生物」の医療費が高額である。

予算科目	注1)事業分類	新規既存	注2)事業名	対象者				注3)実施主体	注4)プロセス分類	実施方法	注5)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者									
アウトプット指標												アウトカム指標				
受診者数(【実績値】 - 【目標値】 令和3年度：250人)※目標値は対象者数をもとに毎年見直し												本事業単独でのアウトカム測定が困難(アウトカムは設定されていません)				
3	既存		脳ドック	全て	男女	35～74	被保険者,被扶養者	1	イ,ウ	30歳～34歳の間に1回補助 35歳以上は2年に1回補助	ウ	外部委託による実施		●前年度の実施内容を見直し、継続	脳疾患の早期発見	<p><疾病別医療費から見える健康課題></p> <p>①当健保の医療費が高額となる疾病は、「呼吸器疾患」</p> <p>「新生物」「循環器疾患」の順である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被保険者は「新生物」「循環器」「消化器」 ・被扶養者は「呼吸器」「新生物」「筋骨格」 <p>※なお、内分泌代謝疾患も高額であるが、少数の高額医療費の方によるものであることに留意する。</p> <p>②年齢別では、0～19歳は「呼吸器」、20～39歳は「精神」</p> <p>40～59歳は「新生物」「循環器」、60歳～は「筋骨格」</p> <p>「循環器」「新生物」の医療費が高額である。</p>
受診者数(【実績値】 - 【目標値】 令和3年度：300人)※目標値は対象者数をもとに毎年見直し												本事業単独でのアウトカム測定が困難(アウトカムは設定されていません)				
3,4	既存		巡回歯科検診(歯科保健事業)	全て	男女	18～74	被保険者	1	イ,ウ,キ,ク	労働安全衛生法の法定健診(巡回健診)と一体的に実施 巡回生活習慣病予防健診, 定期健康診断にあわせて全被保険者を対象に各事業所を巡回して実施	コ	外部委託による実施		●前年度の実施内容を見直し、継続	歯科疾患の早期発見及び医療機関受診勧奨、歯科口腔衛生の向上	<p><医療費から見える健康課題></p> <p>①当健保の一人当たり医療費は、概ね健保組合平均と同じ水準である。加齢とともに医療費は高額になり、特に50歳以上になると急激に医療費が増加する。</p> <p>②男女別に比較すると、概ね20～40歳代は女性が高額であり、50歳代以上は男性が高額になる。前者の理由は女性は比較的症状が軽いうちに多く医療機関にかかる一方で、男性は症状が重くなってから医療機関にかかることが想定される。</p> <p>③レセプト件数が0.4%程度の入院レセプトが、当健保の医療費全体の20%程度を占めている。</p>
受診者数(【実績値】 - 【目標値】 令和3年度：2,500人)※目標値は対象者数をもとに毎年見直し												今後、歯科受診率や歯科口腔衛生に資するアウトカム(デンタルフロス利用率)等を測定(アウトカムは設定されていません)				
3	既存		インフルエンザ予防接種補助(感染症予防事業)	全て	男女	18～74	被保険者	1	コ,シ	インフルエンザ予防接種の費用補助	コ	全医療機関での実施が可能		●前年度の実施内容を見直し、継続	インフルエンザの予防(プレゼンティーイズム抑制を含む)	<p><疾病別医療費から見える健康課題></p> <p>①当健保の医療費が高額となる疾病は、「呼吸器疾患」</p> <p>「新生物」「循環器疾患」の順である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被保険者は「新生物」「循環器」「消化器」 ・被扶養者は「呼吸器」「新生物」「筋骨格」 <p>※なお、内分泌代謝疾患も高額であるが、少数の高額医療費の方によるものであることに留意する。</p> <p>②年齢別では、0～19歳は「呼吸器」、20～39歳は「精神」</p> <p>40～59歳は「新生物」「循環器」、60歳～は「筋骨格」</p> <p>「循環器」「新生物」の医療費が高額である。</p>
実施者数(【実績値】 - 【目標値】 令和3年度：700人)※目標値は対象者数をもとに毎年見直し												本事業単独でのアウトカム測定が困難(アウトカムは設定されていません)				
4	新規		若年肥満者等に対する疾病予防支援	全て	男女	18～(上限なし)	加入者全員	1	ク	ICTを活用した食事指導プログラムの実施	ウ,ケ,コ	厚労省助成外部委託		●特定保健指導該当に相当するリスクを保有する若年層に対して、食生活改善を支援する	<ul style="list-style-type: none"> ●「特定保健指導該当者減少率」を増加傾向にする ●40歳到達時点で特定保健指導非該当となることを目指す 	<p><高額医療費から見える健康課題></p> <p>①60歳代(前期高齢者及びその前の世代)で医療費が高額になる疾病のうち、対策可能と言われているものは</p> <p>「虚血性心疾患(心筋梗塞・狭心症)」「高血圧症」であり、いずれも「循環器」に含まれる。また、「糖尿病」は「内分泌代謝」に含まれるが、受診率が「高血圧症」の次に高い。</p>
事業参加者数(【実績値】 - 【目標値】 令和3年度：60人)-												体重減少率(【実績値】 - 【目標値】 令和3年度：50%)体重減少率=体重減少者/事業参加者数				

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	注2) 事業名	対象者				注3) 実施主体	注4) プロセス分類	実施方法	注5) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連			
				対象事業所	性別	年齢	対象者												
アウトプット指標										アウトカム指標									
直営保養所	5	既存	福利厚生事業	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	スポーツクラブ、施設の利用割引等	ス	外部委託による実施 今後、事業主が健康経営の視点で実施する施策との役割分担を予定	●前年度の実施内容を見直し、継続	福利厚生	<生活習慣・改善意識から見える健康課題> ※当健保の被保険者の生活習慣は、健保組合平均と比較すると概ね良いが、一定数の悪い生活習慣保有率である とともに、今後の50歳代の増加により、健康リスクが増加すると想定している。 ①定期的な運動習慣がない割合：男性73.2%、女性86.8% ②就寝前に夕食をとる割合：男性25.6%、女性19.0% ③毎日飲酒する割合：男性32.7%、女性12.0% ④睡眠不足の割合：男性29.8%、女性43.4% ⑤喫煙の割合：男性24.7%、女性10.7% ⑥改善意欲がない割合：男性19.6%、女性15.3%				
利用者数【実績値】 - 【目標値】 令和3年度：1,000人※目標値は対象者数をもとに毎年見直し												本事業単独でのアウトカム測定が困難(アウトカムは設定されていません)							
予算措置なし	3,4	新規	糖尿病性腎症の重症化予防支援・医療機関の受診勧奨支援	全て	男女	18～74	基準該当者	1	イ,エ,オ,カ,キ,ク	①HbA1c等で一定の基準値を設け、対象者を選定 ②産業医判定基準を設け、対象者に受診勧奨を実施。健保では、当該対象者の受診履歴をレセプトから確認を実施。	エ,ク	①厚労省の補助金交付の対象である糖尿病性腎症重症化予防事業を実施（外部委託による実施） ②健康管理室が実施する定期健診後措置にて実施。健保ではその後の受診確認を実施。	●経産省モデル事業参加	人工透析、脳血管疾患、虚血性心疾患の重症化予防	<高リスク保有者から見える健康課題> ①血糖・血圧・脂質の3つの受診勧奨判定値以上の健康リスクを保有しているにもかかわらず医療機関を受診していない方が存在する。 ・肥満（83人、うち22人が喫煙者） ・非肥満（42人、うち14人が喫煙者）				
実施者数【実績値】 - 【目標値】 令和3年度：5人-												体重減少者率【実績値】 - 【目標値】 令和3年度：50% 体重減少者数／参加者数（%） ※体重減少者＝初回面談時より指導評価時の体重が減少した方							
2,3,5			健康管理室による支援（産業保健との連携）	母体企業	男女	18～74	被保険者	2	イ,オ,シ		ア,イ	健康管理室が実施する支援 ・メンタルヘルス ・定期健診後措置 ・健康相談 ・健康教育 ・健康増進事業等	●健康管理室が実施する支援 ・メンタルヘルス ・定期健診後措置 ・健康相談 ・健康教育 ・健康増進事業 等 ●健保組合と役割分担の上効率的なコラボヘルスを実施	健康管理室が実施する支援 ・メンタルヘルス ・定期健診後措置 ・健康相談 ・健康教育 ・健康増進事業等	<健康課題と保健事業> ①加入者全員に対応した保健事業（ポピュレーションアプローチ） ②健康リスクに対応した保健事業（ハイリスクアプローチ） を組み合わせ、全員に支援が行き届く保健事業を実施。 その際に、事業主（人事、産業医、健康管理室）及び従業員代表（労組）と強力に連携し、オールアドバンテストのコラボヘルスを推進。				
実施事業数【実績値】 - 【目標値】 令和3年度：5件												健保組合と具体的な役割分担を実施する事業数				事業主が測定(アウトカムは設定されていません)			

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 事業名の後に「*」がついている事業は共同事業を指しています。

注3) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注4) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認（要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況） ウ. 受診状況の確認（がん検診・歯科健診の受診状況） エ. ICTの活用（情報作成又は情報提供でのICT活用など） オ. 専門職による対面での健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施
キ. 定量的な効果検証の実施 ク. 対象者の抽出（優先順位づけ、事業所の選定など） ケ. 参加の促進（選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備） コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 シ. 事業主と健康課題を共有 ス. その他

注5) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 専門職との連携体制の構築（産業医・産業保健師を除く） エ. 他の保険者との共同事業 オ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 カ. 自治体との連携体制の構築 キ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 ク. 保険者協議会との連携体制の構築
ケ. その他の団体との連携体制の構築 コ. 就業時間内も実施可（事業主と合意） サ. 運営マニュアルの整備（業務フローの整理） シ. 人材確保・教育（ケースカンファレンス/ライブラリーの設置） ス. その他

STEP 4-1 事業報告

事業の一覧

職場環境の整備

- 1 健康管理事業推進委員会（情報共有会議）
- 2 健康経営推進委員会（事業主の健康経営推進支援）
- 3 事業所別の健康情報提供（健康白書）

加入者への意識づけ

- 2 健康ポータルサイト・インセンティブ提供（健康増進事業）
- 4 禁煙チャレンジ・禁煙外来補助（禁煙推進事業）
- 6 ホームページ（広報・啓発）
- 7 ジェネリック医薬品利用促進（医療費適正化事業）
- 8 医療費通知（医療費適正化事業）

個別の事業

- 1 特定健康診査（被保険者）
- 2 特定健康診査（被扶養者）
- 3 特定保健指導
- 4 巡回生活習慣病健診
- 5 人間ドック
- 6 巡回主婦健診
- 7 婦人科検査
- 8 脳ドック
- 9 巡回歯科検診（歯科保健事業）
- 10 インフルエンザ予防接種補助（感染症予防事業）
- 11 福利厚生事業
- 12 糖尿病性腎症の重症化予防支援・医療機関の受診勧奨支援
- 13 健康管理室による支援（産業保健との連携）
- 14 若年肥満者等に対する疾病予防支援

【保健事業の基盤】 職場環境の整備

1	事業名	健康管理事業推進委員会（情報共有会議）							
健康課題との関連	<p><健康課題と保健事業></p> <p>①加入者全員に対応した保健事業 （ポピュレーションアプローチ）</p> <p>②健康リスクに対応した保健事業 （ハイリスクアプローチ）</p> <p>を組み合わせ、全員に支援が行き届く保健事業を実施。 その際に、事業主（人事、産業医、健康管理室）及び 従業員代表（労組）と強力に連携し、オールアドバン テストのコラボヘルスを推進。</p>								
分類									
注1)事業分類	計画	1-ア,1-エ	実施主体	計画	3. 健保組合と事業主との共同事業	予算科目	(予算措置なし)	新規・既存区分	新規
	実績	1-ア,1-エ		実績	3. 健保組合と事業主との共同事業				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～74 対象者分類 加入者全員							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～74 対象者分類 加入者全員							
注2)プロセス分類	計画	シ	実施方法	計画	健保理事会の諮問会議	予算額	0千円		
	実績	シ		実績	健保理事会の諮問会議				
注3)ストラクチャー分類	計画	ア	実施体制	計画	事業主（人事、健康管理室、産業医）及び従業員代表、健保組合の情報共有会議	決算額	0千円		
	実績	ア		実績	事業主（人事、健康管理室、産業医）及び従業員代表、健保組合の情報共有会議				
実施計画 (令和3年度)	●健康管理事業推進委員会設置及び開催 (2018年8月から)								
振り返り	<p>実施状況・時期</p> <p>2018年8月から月1回の頻度で事業主（人事、健康管理室、産業医）及び従業員代表、健保組合（理事長、常務理事）が委員として参加した会議を実施し、加入者の健康増進に資する取り組み方針等を協議</p> <p>成功・推進要因</p> <ul style="list-style-type: none"> 健保組合および事務局支援（外部委託）にて事前に会議内容をすり合わせることで、委員会本番の議論をスムーズに進めることができた 委員全員のスケジュールを事前に抑えることで欠員がほぼ出ない状態で会議を開催できた <p>課題及び阻害要因 特に課題は認識していないが、毎年の保健事業を前倒しでToDoベースで管理・評価していく必要があると考えている。</p>								

評価	5. 100%
事業目標	事業主（人事、健康管理室、産業医）及び従業員代表、健保組合の情報共有会議
アウトプット指標	開催回数（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和3年度：6回/6回 【達成度】 100.0%） 2か月に1回を目安として開催予定[-]
アウトカム指標	本事業は情報共有を目的としているため (アウトカムは設定されていません)

2 事業名 健康経営推進委員会（事業主の健康経営推進支援）

健康課題との関連

<健康課題と保健事業>
 ①加入者全員に対応した保健事業
 （ポピュレーションアプローチ）
 ②健康リスクに対応した保健事業
 （ハイリスクアプローチ）
 を組み合わせ、全員に支援が行き届く保健事業を実施。
 その際に、事業主（人事、産業医、健康管理室）及び
 従業員代表（労組）と強力に連携し、オールアドバン
 テストのコラボヘルスを推進。

分類									
注1)事業分類	計画	1-ア,1-ウ,1-エ	実施主体	計画	2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用	予算科目	(予算措置なし)	新規・既存区分	新規
	実績	1-ア, 1-ウ, 1-エ		実績	2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用				

共同事業 共同事業ではない

事業の内容

対象者	計画	対象事業所	母体企業	性別	男女	年齢	18～74	対象者分類	被保険者
	実績	対象事業所	母体企業	性別	男女	年齢	18～74	対象者分類	被保険者

注2)プロセス分類	計画	シ	実施方法	計画	経営層の諮問会議	予算額	0千円
	実績	シ		実績	経営層の諮問会議		

注3)ストラクチャー分類	計画	ア	実施体制	計画	母体事業主が開催する表題会議に健保理事長が参加	決算額	0千円
	実績	ア		実績	母体事業主が開催する表題会議に健保理事長が参加		

実施計画 (令和3年度) ●母体事業主が開催する表題会議に健保理事長が参加（2018年9月から）

振り返り	実施状況・時期	母体事業主が開催する表題会議に健保理事長が参加（2018年9月から） 健康経営推進委員会 1回 同分科会 2回
	成功・推進要因	健康経営に関するコンセプト確認や、健康宣言策定に向けた検討を開始
	課題及び阻害要因	執行役員の日程があわず、定期的な会議が開催できなかった
評価	2. 40%以上	
事業目標		
事業主（人事、健康管理室、産業医）及び労組、健保理事長の情報共有会議		
アウトプット指標	参加回数（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和3年度：12回/5回 【達成度】 41.7%） -[-]	
アウトカム指標	本事業は情報共有を目的としているため (アウトカムは設定されていません)	

3	事業名	事業所別の健康情報提供（健康白書）							
健康課題との関連	<p><健康課題と保健事業></p> <p>①加入者全員に対応した保健事業 (ポピュレーションアプローチ)</p> <p>②健康リスクに対応した保健事業 (ハイリスクアプローチ)</p> <p>を組み合わせ、全員に支援が行き届く保健事業を実施。 その際に、事業主（人事、産業医、健康管理室）及び従業員代表（労組）と強力に連携し、オールアドバンテストのコラボヘルスを推進。</p>								
分類									
注1)事業分類	計画	1-イ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	(予算措置なし)	新規・既存区分	新規
	実績	1-イ		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所	全て	性別	男女	年齢	18～74	対象者分類	被保険者,被扶養者
	実績	対象事業所	全て	性別	男女	年齢	18～74	対象者分類	被保険者,被扶養者
注2)プロセス分類	計画	エ	実施方法	計画	事業所との健康課題共有 ・課題の明確化のため、厚労省等が提供する「健康スコアリングレポート」と当健保が作成する「事業所別健康スコアリングレポート（仮称：健康白書）」を組み合わせ、情報提供し、具体的な改善アクションにつなげていく。			予算額	0千円

	実績 エ		実績 事業所との健康課題共有 ・課題の明確化のため、厚労省等が提供する「健康スコアリングレポート」と当健保が作成する「事業所別健康スコアリングレポート（仮称：健康白書）」を組み合わせ、情報提供し、具体的な改善アクションにつなげていく。		
注3)ストラクチャー分類	計画 ア,イ	実施体制	計画 ・データ分析（事業所、部署ごと）	決算額	0千円
	実績 ア,イ		実績 ・データ分析（事業所、部署ごと）		
実施計画 (令和3年度)	●パイロットスタディ（試行及び意見聴取）				
振り返り	実施状況・時期		事業所別一覧を作成し、健康管理事業推進委員会で議論した。		
	成功・推進要因		国が提供する健康スコアリングレポートに準拠した様式で作成。		
	課題及び阻害要因		事業所への提供・説明方法、改善に向けた具体的なアクションを策定していく必要がある。		
評価	5. 100%				
事業目標					
事業所との健康課題共有と、具体的な改善アクション					
アウトプット指標 健康白書作成（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和3年度：1回/1回 【達成度】 100.0%）平成30年度はパイロットスタディーを実施[-]					
アウトカム指標 今後、具体的な改善アクションを事業所別に設定し、個別にアウトカムを設定（アウトカムは設定されていません）					

【保健事業の基盤】 加入者への意識づけ

2 事業名		健康ポータルサイト・インセンティブ提供（健康増進事業）					
健康課題との関連	<p><健康リスクから見える健康課題></p> <p>※当健保の被保険者の保有する健康リスクは、健保組合平均と比較すると概ね低いが、一定数の健康リスク保有率であるとともに、今後の50歳代の増加により、課題が大きくなると想定している。</p> <p>①腹囲：男性の50.5%がリスク保有（40歳で45%） ②HbA1c：男性の26.6%がリスク保有（加齢で増加） ③収縮期血圧：男性の27.9%がリスク保有（加齢で増加） ④LDL-C：男性の54.8%がリスク保有（40歳で53.7%）</p>						
	<p><生活習慣・改善意識から見える健康課題></p> <p>※当健保の被保険者の生活習慣は、健保組合平均と比較すると概ね良いが、一定数の悪い生活習慣保有率であるとともに、今後の50歳代の増加により、健康リスクが増加すると想定している。</p> <p>①定期的な運動習慣がない割合：男性73.2%、女性86.8% ②就寝前に夕食をとる割合：男性25.6%、女性19.0% ③毎日飲酒する割合：男性32.7%、女性12.0% ④睡眠不足の割合：男性29.8%、女性43.4% ⑤喫煙の割合：男性24.7%、女性10.7% ⑥改善意欲がない割合：男性19.6%、女性15.3%</p>						
分類							
注1)事業分類	計画 2,3-ア,3-イ	実施主体	計画 1. 健保組合	予算科目	特定保健指導事業	新規・既存区分	新規
	実績 2,3-ア,3-イ		実績 1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない						
事業の内容							
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 加入者全員					
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 加入者全員					
注2)プロセス分類	計画 ア,エ,ケ	実施方法	<p>ICTを活用した健康増進支援サービスを導入することで幅広い対象者にポピュレーションアプローチを実施し、加入者の意識・行動変容を促し、健康保持増進、医療費適正化を図る。</p> <p>※同サービスにおいて、厚生労働省が策定するインセンティブ・ガイドラインに準拠した個人向けのインセンティブを提供する。</p>			予算額	-千円

	実績	ア,エ,ケ		実績	ICTを活用した健康増進支援サービスを導入することで幅広い対象者にポピュレーションアプローチを実施し、加入者の意識・行動変容を促し、健康保持増進、医療費適正化を図る。 ※同サービスにおいて、厚生労働省が策定するインセンティブ・ガイドラインに準拠した個人向けのインセンティブを提供する。		
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,ウ	実施体制	計画	外部委託による実施（健康ポータルサイト及び個人向けインセンティブ事業の導入）	決算額	2,054千円
	実績	ア,ウ		実績	被保険者及び被扶養者（30歳以上）を対象に、健康リテラシーの向上を目的とした健康情報の提供、ポイントインセンティブ付与等の健康管理ツール（健康ポータル）を提供		
実施計画 (令和3年度)	●加入者の行動変容に資する健康ポータルサイト及びインセンティブ提供事業の検討及び事業化						
振り返り	実施状況・時期		健康ポータルサイトおよびインセンティブサイトを導入・利用				
	成功・推進要因		人間ドック予約・補助金申請をポータルサイト経由で実施することで利用率を向上				
	課題及び阻害要因		健康ポータルサイトへの登録率が低いため、登録率向上対策が必要				
評価	5. 100%						
事業目標							
●個人に合わせた情報提供及び健康増進コンテンツの提供により、具体的な行動変容を促す ●健康ポータルサイトの活用促進（広報を積極的に実施）							
アウトプット指標 健康増進アプリの登録率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和3年度：15%/0% 【達成度】 0.0%）登録率＝登録者／ID発行者数[-]							
アウトカム指標 健康増進アプリの活用度（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和3年度：15%/13.5% 【達成度】 90.0%）活用度＝活用量／登録者数 活用量：食事記録・歩数記録を実施した者[-]							

4	事業名	禁煙チャレンジ・禁煙外来補助（禁煙推進事業）							
健康課題との関連	<p><生活習慣・改善意識から見える健康課題> ※当健保の被保険者の生活習慣は、健保組合平均と比較すると概ね良いが、一定数の悪い生活習慣保有率であるとともに、今後の50歳代の増加により、健康リスクが増加すると想定している。</p> <p>①定期的な運動習慣がない割合：男性73.2%、女性86.8% ②就寝前に夕食をとる割合：男性25.6%、女性19.0% ③毎日飲酒する割合：男性32.7%、女性12.0% ④睡眠不足の割合：男性29.8%、女性43.4% ⑤喫煙の割合：男性24.7%、女性10.7% ⑥改善意欲がない割合：男性19.6%、女性15.3%</p>								
	分類								
注1)事業分類	計画	2,5-オ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	新規

	実績 2,5-才		実績 1. 健保組合			
共同事業	共同事業ではない					
事業の内容						
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 20～74 対象者分類 基準該当者				
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 20～74 対象者分類 基準該当者				
注2)プロセス分類	計画	ア,エ,ケ	実施方法	計画	・厚労省モデル事業（成果連動型報酬事業（PFS））にて実施 ・喫煙中の希望者に対してオンライン禁煙支援を実施	予算額 -千円
	実績	ア,エ,ケ		実績	・厚労省モデル事業（成果連動型報酬事業（PFS））にて実施 ・喫煙中の希望者に対してオンライン禁煙支援を実施	
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,イ	実施体制	計画	・外部委託による実施	決算額 515千円
	実績	ア,イ		実績	・外部委託による実施	
実施計画 (令和3年度)	●参加促進対策、アウトカムの測定					
振り返り	実施状況・時期		オンライン禁煙支援 ※厚労省補助金事業での実施であるため、健保の費用負担なし			
	成功・推進要因		<ul style="list-style-type: none"> ・メールを活用して禁煙に必要な情報の提供をし、回答により情報を個人にパーソナライズして提供。12週間の毎週支援により習慣化を支援。 ・接客的な案内周知を実施 ・製造業(工場勤務者・研究所勤務者)に向けたアドバイスも実施(喫煙時間帯や喫煙所の利用、喫煙場所も考慮したもの) 			
	課題及び阻害要因		事業への参加者の増加			
評価	5. 100%					
事業目標						
<ul style="list-style-type: none"> ●禁煙・減煙成功者の増加 ●健保全体の喫煙率の低下 						
アウトプット指標 事業参加者数（【平成29年度末の実績値】-【計画値/実績値】令和3年度：15人/8人 【達成度】20.0%）-[-]						
アウトカム指標 禁・減煙成功率（【平成29年度末の実績値】-【計画値/実績値】令和3年度：50%/88% 【達成度】176.0%）-[-]						
6 事業名	ホームページ（広報・啓発）					

健康課題との関連	<p><生活習慣・改善意識から見える健康課題> ※当健保の被保険者の生活習慣は、健保組合平均と比較すると概ね良いが、一定数の悪い生活習慣保有率であるとともに、今後の50歳代の増加により、健康リスクが増加すると想定している。</p> <p>①定期的な運動習慣がない割合：男性73.2%、女性86.8% ②就寝前に夕食をとる割合：男性25.6%、女性19.0% ③毎日飲酒する割合：男性32.7%、女性12.0% ④睡眠不足の割合：男性29.8%、女性43.4% ⑤喫煙の割合：男性24.7%、女性10.7% ⑥改善意欲がない割合：男性19.6%、女性15.3%</p>						
----------	---	--	--	--	--	--	--

分類

注1)事業分類	計画	2	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分	既存
	実績	2		実績	1. 健保組合				

共同事業 共同事業ではない

事業の内容

対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～74 対象者分類 加入者全員							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～74 対象者分類 加入者全員							

注2)プロセス分類	計画	エ	実施方法	計画	<ul style="list-style-type: none"> ●健保組合の仕組み・各種制度や保健事業（データヘルス計画）等の広報の充実 ●よくある質問の充実を図る ●健康ポータルサイト等のコンテンツの導入・掲載 	予算額	-千円
	実績	エ		実績	<ul style="list-style-type: none"> ●健保組合の仕組み・各種制度や保健事業（データヘルス計画）等の広報の充実 ●よくある質問の充実を図る ●健康ポータルサイト等のコンテンツの導入・掲載 		

注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画	外部委託による実施	決算額	317千円
	実績	ス		実績	外部委託による実施		

実施計画 (令和3年度) ●前年度の実施内容を見直し、継続

振り返り	実施状況・時期	健康保険の解説及び各種手続、保険事業等の情報をホームページに掲載
	成功・推進要因	タイムリーな情報提供 各種申請書のダウンロード 補助金等の申請システム 健康情報サイトへのリンク
	課題及び阻害要因	特に課題は認識していない。
評価	5. 100%	
事業目標		
加入者の行動変容を促す、または健保保健事業の周知に資する記事の更新		
アウトプット指標	更新回数（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和3年度：12回/12回 【達成度】 100.0%）データヘルス計画または健康増進に資する記事の更新[-]	
アウトカム指標	本事業単独でのアウトカム測定が困難 (アウトカムは設定されていません)	

7	事業名		ジェネリック医薬品利用促進（医療費適正化事業）						
健康課題との関連	<p><ジェネリック利用状況から見える健康課題></p> <p>①数量ベース（院外処方）の利用率は66.9%（2016年度）であり、現時点で国が定める目標70%を達成している。一方で、利用率が低い年齢層として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10歳代と40～50歳代が挙げられ、特に後者は医療費の削減余地が大きい なお、10歳未満は医療費が無料である等から利用率が低いと想定される。 <p>また、削減余地が大きい医薬品のうち、よく使われる医薬品（花粉症や湿布、軟膏など）が上位である。</p>								
分類									
注1)事業分類	計画	7-ア,7-イ,7-ウ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	その他	新規・既存区分	既存
	実績	7-ア,7-イ,7-ウ		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所	全て	性別	男女	年齢	0～74	対象者分類	基準該当者
	実績	対象事業所	全て	性別	男女	年齢	0～74	対象者分類	基準該当者

注2)プロセス分類	計画	キ,ク	実施方法	計画	以下の総合的なジェネリック医薬品の利用促進対策を実施。 ・ジェネリック利用希望シールの配布（被保険者証貼付用） ・利用促進のための広報、啓発促進（機関誌や健康ポータルサイトの活用） ・事業所と連携した利用促進対策（情報提供等） ・上記に資するジェネリック医薬品に関する利用状況のデータ分析	予算額	-千円	
	実績	キ,ク		実績	以下の総合的なジェネリック医薬品の利用促進対策を実施。 ・ジェネリック利用希望シールの配布（被保険者証貼付用） ・利用促進のための広報、啓発促進（機関誌や健康ポータルサイトの活用） ・事業所と連携した利用促進対策（情報提供等） ・上記に資するジェネリック医薬品に関する利用状況のデータ分析			
注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画	基本的に健保主体で実施するが、今後、広報・啓発等について事業所と連携することを検討する。	決算額	0千円	
	実績	ス		実績	基本的に健保主体で実施するが、今後、広報・啓発等について事業所と連携することを検討する。			
実施計画 (令和3年度)	●前年度の実施内容を見直し、継続							
振り返り	実施状況・時期	希望カード・シールの配布 差額通知は未実施であるが、ジェネリックの利用状況は計画値を達成						
	成功・推進要因	特になし						
	課題及び阻害要因	差額通知の実施を検討						
評価	3. 60%以上							
事業目標								
●前年度事業の評価、見直し検討、改善及び事業の継続実施 ●ジェネリック差額通知の実施検討								
アウトプット指標								
通知回数（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和3年度：2回/0回 【達成度】 0.0%）医療費通知と一体化しているなど利用者にとって利便性の高い方式の導入を予定[-]								
アウトカム指標 利用率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和3年度：76%/74.5% 【達成度】 98.0%）数量ベース（院外処方のみ）※年間[-]								

8 事業名 **医療費通知（医療費適正化事業）**

健康課題との関連	<p><医療費から見える健康課題></p> <p>①当健保の一人当たり医療費は、概ね健保組合平均と同じ水準である。加齢とともに医療費は高額になり、特に50歳以上になると急激に医療費が増加する。</p> <p>②男女別に比較すると、概ね20～40歳代は女性が高額であり、50歳代以上は男性が高額になる。前者の理由は女性は比較的症状が軽いうちに多く医療機関にかかる一方で、男性は症状が重くなってから医療機関にかかることが想定される。</p> <p>③レセプト件数が0.4%程度の入院レセプトが、当健保の医療費全体の20%程度を占めている。</p>								
分類									
注1)事業分類	計画	2,8	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	その他	新規・既存区分	既存
	実績	2,8		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～74 対象者分類 基準該当者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～74 対象者分類 基準該当者							
注2)プロセス分類	計画	ス	実施方法	計画	毎月医療費実績明細書（被保険者1世帯単位）を送付する。	予算額	-千円		
	実績	ス		実績	毎月医療費実績明細書（被保険者1世帯単位）を送付する。				
注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画	外部委託による実施	決算額	-千円		
	実績	ス		実績	外部委託による実施				
実施計画(令和3年度)	●前年度の実施内容を見直し、継続								
振り返り	<p>実施状況・時期 加入者が「医療費に対するコスト意識」を持ち「健康の大切さ」を認識するため、WEB版医療費通知を実施</p> <p>成功・推進要因 医療費を意識する一助になると考えている。</p> <p>課題及び阻害要因 特に課題は認識していない。</p>								
評価	5. 100%								
事業目標									

医療費に対する意識啓発

アウトプット指標 通知回数（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和3年度：2回/12回 【達成度】 600.0%）※利用者にとって利便性の高い方式への変更を予定[-]

アウトカム指標 本事業単独でのアウトカム測定が困難
(アウトカムは設定されていません)

【個別の事業】

1	事業名	特定健康診査（被保険者）							
健康課題との関連	<p><特定健診・特定保健指導から見える健康課題></p> <p>①当健保の特定健診受診率は88%程度で推移しており、概ね高い水準であるが、単一健保組合目標である90%達成のため、被扶養者の受診率向上が必要である。</p> <p>②特定保健指導実施率は45%程度であり、健保組合平均は超えているが経年で実施率が低下している。</p>								
分類									
注1)事業分類	計画	3-ア	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	特定健康診査事業	新規・既存区分	既存
	実績	3-ア		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 被保険者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 被保険者							
注2)プロセス分類	計画	イ,オ,カ,キ,ク	実施方法	計画	以下により実施 ・事業主が実施する定期健康診断 ・人間ドック（健保において費用補助）	予算額	-千円		
	実績	イ,オ,カ,キ,ク		実績	以下により実施 ・事業主が実施する定期健康診断 ・人間ドック（健保において費用補助）				
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,エ,オ,ク	実施体制	計画	外部委託による実施	決算額	5,302 千円		
	実績	ア,エ,オ,ク		実績	外部委託による実施				
実施計画 (令和3年度)	●前年度の実施内容を見直し、継続 (もれのない事業主健診データの受領)								
振り返り	<p>実施状況・時期 受診者数：723人 ※決算額は人間ドック費用補助金額</p> <p>成功・推進要因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月1回受診率を把握し、対策を検討 ・事業主人事部と連携し、未受診者へのフォローを実施 ・要治療レベルのものに対しては事業主産業医より医療機関受診勧奨を実施、通院確認まで実施 <p>課題及び阻害要因 特になし</p>								
評価	5. 100%								

事業目標
健康リスクの早期発見

アウトプット指標

受診率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和3年度：97.2%/98% 【達成度】 100.8%） -[*実績及び達成度は未確定のため暫定値を記載（令和4年11月末までに修正予定）]

アウトカム指標

積極的支援該当率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和3年度：15%/12% 【達成度】 125%） 国への報告（項番33）で評価 ※評価は未満で実施[*実績及び達成度は未確定のため暫定値を記載（令和4年11月末までに修正予定）]

動機付け支援該当率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和3年度：12%/9% 【達成度】 133%） 国への報告（項番38）で評価 ※評価は未満で実施[*実績及び達成度は未確定のため暫定値を記載（令和4年11月末までに修正予定）]

2 事業名 特定健康診査（被扶養者）

健康課題との関連
 <特定健診・特定保健指導から見える健康課題>
 ①当健保の特定健診受診率は88%程度で推移しており、概ね高い水準であるが、単一健保組合目標である90%達成のため、被扶養者の受診率向上が必要である。
 ②特定保健指導実施率は45%程度であり、健保組合平均は超えているが経年で実施率が低下している。

分類

注1)事業分類	計画	3-ア	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	特定健康診査事業	新規・既存区分	既存(法定)
	実績	3-ア		実績					

共同事業 共同事業ではない

事業の内容

対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 加入者全員							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 加入者全員							

注2)プロセス分類	計画	イ	実施方法	計画	以下により実施（健保において費用補助） ・巡回主婦健診 ・人間ドック	予算額	-千円
	実績			実績			

注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画	外部委託による実施	決算額	5,470 千円
--------------	----	---	------	----	-----------	-----	----------

実績	実績	外部委託による実施
----	----	-----------

実施計画 (令和3年度)	<ul style="list-style-type: none"> ●前年度の実施内容を見直し、継続 <ul style="list-style-type: none"> ・受診の利便性見直し (医療機関や予約方法) ・健診メニューの見直し (魅力的なメニュー) ・未受診者への適切なタイミングでのリマインド ・連続未受診者（一度も受診しない方を含む）の行動変容を促す施策（郵送健診やインセンティブ） ・未受診である理由の把握（アンケート）
-----------------	--

振り返り	<p>実施状況・時期 受診者数：</p> <p>人間ドック：151人 巡回主婦健診：661人 ※決算額は人間ドック費用補助および巡回主婦健診費用を合算した金額</p> <p>成功・推進要因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡回主婦健診、人間ドックの受診率向上対策 ・未受診者へ受診勧奨を実施 <p>課題及び阻害要因 特になし</p>
------	---

評価	5. 100%
----	---------

事業目標

健康リスクの早期発見

アウトプット指標

受診率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和3年度：77.1%/70% 【達成度】 90.8%） - [※実績及び達成度は未確定のため暫定値を記載（令和4年11月末までに修正予定）]

アウトカム指標

積極的支援該当率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和3年度：5%/2% 【達成度】 250%） 国への報告（項番33）で評価 ※評価は未満で実施[※実績及び達成度は未確定のため暫定値を記載（令和4年11月末までに修正予定）]

動機付け支援該当率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和3年度：8%/6% 【達成度】 133%） 国への報告（項番38）で評価 ※評価は未満で実施[※実績及び達成度は未確定のため暫定値を記載（令和4年11月末までに修正予定）]

3 事業名 特定保健指導

健康課題との関連	<p><特定健診・特定保健指導から見える健康課題></p> <p>①当健保の特定健診受診率は88%程度で推移しており、概ね高い水準であるが、単一健保組合目標である90%達成のため、被扶養者の受診率向上が必要である。</p> <p>②特定保健指導実施率は45%程度であり、健保組合平均は超えているが経年で実施率が低下している。</p>
----------	--

分類

注1)事業分類	計画	3-ア,4-ア,4-オ,4-カ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	特定保健指導事業	新規・既存区分	既存(法定)
	実績	3-ア,4-ア,4-オ,4-カ		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 基準該当者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 基準該当者							
注2)プロセス分類	計画	ア,イ,ウ,エ,オ	実施方法	計画	ICTを活用した特定保健指導を実施	予算額	-千円		
	実績	ア,イ,ウ,エ,オ		実績	ICTを活用した特定保健指導を実施				
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,イ,ウ,コ	実施体制	計画	健康管理室、関係会社の医療職とのコラボヘルス及び外部委託による実施	決算額	13,843 千円		
	実績	ア,イ,ウ,コ		実績	健康管理室、関係会社の医療職とのコラボヘルス及び外部委託				
実施計画 (令和3年度)	<ul style="list-style-type: none"> ●特定保健指導実施率向上対策を重点実施 ・被保険者は抜本的に方式及び委託事業者を見直し、内製（健康管理室、関係会社の医療職）委託（事業主調整を積極的に実施する事業者）のベストミックス体制を講じるとともに、経年該当者へのマンネリ対応を並行して実施 ・被扶養者は遠隔型（ICT）の導入 								
振り返り	<p>実施状況・時期</p> <p>動機付支援：</p> <p>令和2年度分終了者 212名 令和3年度分終了者 0名 令和3年度分初回面談 128名</p> <p>積極的支援：</p> <p>令和2年度分終了者 246名 令和3年度分終了者 1名 令和3年度分初回面談 137名</p> <p>実施場所：群馬R&Dセンタ他、ICT面談 対象者：令和2年度健診結果より対象者を抽出、被扶養者も含め対象者全員（実施不可能者を除く）に対し特定保健指導を実施</p> <p>被保険者・被扶養者で異なる、複数の業者に委託</p> <p>成功・推進要因 被保険者・被扶養者ともに遠隔型（ICT）の導入</p> <p>課題及び阻害要因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数年連続して対象となった方の脱落 ・マンネリ化 								
評価	5. 100%								

事業目標	
特定保健指導該当者の減少（アウトプットとアウトカムの両立）	
アウトプット指標	実施率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和3年度：55.1%/69% 【達成度】 125.2%）被保険者と被扶養者の合計 ※なお、目標値は単一健保目標の55%にしているが、60%以上の達成を目指す[※実績及び達成度は未確定のため暫定値を記載（令和4年11月末までに修正予定）]
アウトカム指標	実施者の改善率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和3年度：35%/19% 【達成度】 54.3%）特定保健指導実施者の翌年度の改善率 国への報告の項番31で評価[※実績及び達成度は未確定のため暫定値を記載（令和4年11月末までに修正予定）]

4 事業名 巡回生活習慣病健診

健康課題との関連

<疾病別医療費から見える健康課題>

①当健保の医療費が高額となる疾病は、「呼吸器疾患」
「新生物」「循環器疾患」の順である。
・被保険者は「新生物」「循環器」「消化器」
・被扶養者は「呼吸器」「新生物」「筋骨格」
※なお、内分泌代謝疾患も高額であるが、少数の高額医療費の方によるものであることに留意する。

②年齢別では、0～19歳は「呼吸器」、20～39歳は「精神」
40～59歳は「新生物」「循環器」、60歳～は「筋骨格」
「循環器」「新生物」の医療費が高額である。

分類

注1)事業分類	計画	3-ア,3-イ	実施主体	計画	3. 健保組合と事業主との共同事業	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	3-ア,3-イ		実績	3. 健保組合と事業主との共同事業				

共同事業 共同事業ではない

事業の内容

対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 35～74 対象者分類 被保険者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 35～74 対象者分類 被保険者							

注2)プロセス分類	計画	イ,ウ	実施方法	計画	労働安全衛生法の法定健診と一体的に実施 受診費用全額負担 要医療者に対して健康管理室による受診勧奨を実施	予算額	-千円
	実績	イ,ウ		実績	労働安全衛生法の法定健診と一体的に実施 受診費用全額負担 要医療者に対して健康管理室による受診勧奨を実施		

注3)ストラクチャー分類	計画	ア	実施体制	計画	事業所に健診車を巡回させ実施（肺ガン・大腸ガン・超音波検査含む）	決算額	9,658 千円
--------------	----	---	------	----	----------------------------------	-----	----------

実績	ア	実績	労働安全衛生法の法定健診と一体的に実施 受診費用全額負担
実施計画 (令和3年度)	●前年度の実施内容を見直し、継続		
振り返り	実施状況・時期	対象者 2,415人 受検者数 705人 受検率 29.2%	
	成功・推進要因	特になし	
	課題及び阻害要因	特になし	
評価	4. 80%以上		
事業目標			
健康リスクの早期発見			
アウトプット指標	受診者数（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和3年度：750人/705人 【達成度】94.0%）※目標値は対象者数をもとに毎年見直し[-]		
アウトカム指標	本事業単独でのアウトカム測定が困難 (アウトカムは設定されていません)		

5事業名	人間ドック								
健康課題との関連	<p><疾病別医療費から見える健康課題></p> <p>①当健保の医療費が高額となる疾病は、「呼吸器疾患」 「新生物」「循環器疾患」の順である。 ・被保険者は「新生物」「循環器」「消化器」 ・被扶養者は「呼吸器」「新生物」「筋骨格」 ※なお、内分泌代謝疾患も高額であるが、少数の高額医療費の方によるものであることに留意する。</p> <p>②年齢別では、0～19歳は「呼吸器」、20～39歳は「精神」 40～59歳は「新生物」「循環器」、60歳～は「筋骨格」 「循環器」「新生物」の医療費が高額である。</p>								
分類									
注1)事業分類	計画	3-イ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	3-イ		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 35～74 対象者分類 被保険者,被扶養者							

	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 35～74 対象者分類 被保険者,被扶養者					
注2)プロセス分類	計画	イ,ウ	実施方法	計画	受診費用の一部負担	予算額	-千円
	実績	イ,ウ		実績	受診費用の一部負担		
注3)ストラクチャー分類	計画	ウ,コ	実施体制	計画	外部委託による実施	決算額	32,016 千円
	実績	ウ,コ		実績	受診費用の一部負担		

実施計画 (令和3年度) ●前年度の実施内容を見直し、継続

振り返り	実施状況・時期	受検者数（被保険者） 834人 受検者数（被扶養者） 177人 受検率（被保険者） 48.8% 受検率（被扶養者） 34.2%
		※決算額は人間ドック、婦人科検査、脳ドックの合算
	成功・推進要因	全ての医療機関を補助の対象 申請のシステム化
	課題及び阻害要因	特になし

評価 5 . 100%

事業目標

健康リスクの早期発見

アウトプット指標	受診者数（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和3年度：1,000人/1,011人 【達成度】 101.1%）※目標値は対象者数をもとに毎年見直し[-]
アウトカム指標	本事業単独でのアウトカム測定が困難 (アウトカムは設定されていません)

6 事業名 巡回主婦健診

健康課題との関連	<p><疾病別医療費から見える健康課題></p> <p>①当健保の医療費が高額となる疾病は、「呼吸器疾患」 「新生物」「循環器疾患」の順である。 ・被保険者は「新生物」「循環器」「消化器」 ・被扶養者は「呼吸器」「新生物」「筋骨格」 ※なお、内分泌代謝疾患も高額であるが、少数の高額医療費の方によるものであることに留意する。</p> <p>②年齢別では、0～19歳は「呼吸器」、20～39歳は「精神」 40～59歳は「新生物」「循環器」、60歳～は「筋骨格」 「循環器」「新生物」の医療費が高額である。</p>								
分類									
注1)事業分類	計画	3-ア,3-イ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	3-ア,3-イ		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 女性 年齢 30～74 対象者分類 被扶養者							
	実績	対象事業所 全て 性別 女性 年齢 30～74 対象者分類 被扶養者							
注2)プロセス分類	計画	イ	実施方法	計画	全国の公共施設等に健診車を巡回させ実施（肺ガン・大腸ガン・超音波・婦人科検査含む）	予算額	-千円		
	実績	イ		実績	全国の公共施設等に健診車を巡回させ実施（肺ガン・大腸ガン・超音波・婦人科検査含む）				
注3)ストラクチャー分類	計画	キ	実施体制	計画	外部委託による実施	決算額	18,269 千円		
	実績	キ		実績	外部委託による実施				
実施計画 (令和3年度)	●前年度の実施内容を見直し、継続								
振り返り	実施状況・時期		対象者数 1,230人 受検者数 722人 受検率 58.7%						
	成功・推進要因		全国に健診会場を設置 2次募集の実施						
	課題及び阻害要因		受診率の向上（定期的に受診していただく工夫が必要）						
評価	4. 80%以上								

事業目標	
健康リスクの早期発見	
アウトプット指標	受診者数（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和3年度：800人/722人 【達成度】 90.3%）※目標値は対象者数をもとに毎年見直し[-]
アウトカム指標	本事業単独でのアウトカム測定が困難 (アウトカムは設定されていません)

7 事業名 婦人科検査

健康課題との関連

<疾病別医療費から見える健康課題>

①当健保の医療費が高額となる疾病は、「呼吸器疾患」「新生物」「循環器疾患」の順である。

- ・被保険者は「新生物」「循環器」「消化器」
- ・被扶養者は「呼吸器」「新生物」「筋骨格」

※なお、内分泌代謝疾患も高額であるが、少数の高額医療費の方によるものであることに留意する。

②年齢別では、0～19歳は「呼吸器」、20～39歳は「精神」40～59歳は「新生物」「循環器」、60歳～は「筋骨格」「循環器」「新生物」の医療費が高額である。

分類

注1)事業分類	計画	3-ウ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	3-ウ		実績	1. 健保組合				

共同事業 共同事業ではない

事業の内容

対象者	計画	対象事業所	全て	性別	女性	年齢	30～74	対象者分類	被保険者,被扶養者
	実績	対象事業所	全て	性別	女性	年齢	30～74	対象者分類	被保険者,被扶養者

注2)プロセス分類	計画	イ,ウ	実施方法	計画	実施方法を見直し、継続 また、当健保の婦人科検査の対象外である20歳代の女性に向けて、自治体を実施する子宮頸がん検診の積極的な受診勧奨を実施	予算額	-千円
	実績	イ,ウ		実績	実施方法を見直し、継続 また、当健保の婦人科検査の対象外である20歳代の女性に向けて、自治体を実施する子宮頸がん検診の積極的な受診勧奨を実施		

注3)ストラクチャー分類	計画	キ	実施体制	計画	外部委託による実施	決算額	32,016千円
	実績	キ		実績	外部委託による実施		

実施計画 (令和3年度)	●前年度の実施内容を見直し、継続
振り返り	実施状況・時期 受検者数（被保険者） 116人 受検者数（被扶養者） 138人 受検率（被保険者） 29.7% 受検率（被扶養者） 27.2% ※決算額は人間ドック、婦人科検査、脳ドックの合算
	成功・推進要因 特になし
	課題及び阻害要因 ・30歳未満の加入者に対して、市町村が実施するがん検診の受診案内を健保HPに掲示し、情報提供（受診勧奨）を実施予定だったが、コロナ影響を鑑み、実施見送りとした。 ・受診率の向上（定期的に受診していただく工夫が必要）

評価	5. 100%
----	---------

事業目標

婦人科疾患の早期発見

アウトプット指標	受診者数（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和3年度：250人/254人 【達成度】 101.6%）※目標値は対象者数をもとに毎年見直し[-]
アウトカム指標	本事業単独でのアウトカム測定が困難 (アウトカムは設定されていません)

8 事業名 脳ドック

健康課題との関連

<疾病別医療費から見える健康課題>

①当健保の医療費が高額となる疾病は、「呼吸器疾患」「新生物」「循環器疾患」の順である。
 ・被保険者は「新生物」「循環器」「消化器」
 ・被扶養者は「呼吸器」「新生物」「筋骨格」
 ※なお、内分泌代謝疾患も高額であるが、少数の高額医療費の方によるものであることに留意する。

②年齢別では、0～19歳は「呼吸器」、20～39歳は「精神」
 40～59歳は「新生物」「循環器」、60歳～は「筋骨格」「循環器」「新生物」の医療費が高額である。

分類									
注1)事業分類	計画	3-キ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	3-キ		実績	1. 健保組合				

共同事業 共同事業ではない

事業の内容

対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 35～74 対象者分類 被保険者,被扶養者					
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 35～74 対象者分類 被保険者,被扶養者					
注2)プロセス分類	計画	イ,ウ	実施方法	計画	30歳～34歳の間に1回補助 35歳以上は2年に1回補助	予算額	-千円
	実績	イ,ウ		実績	30歳～34歳の間に1回補助 35歳以上は2年に1回補助		
注3)ストラクチャー分類	計画	ウ	実施体制	計画	外部委託による実施	決算額	32,016千円
	実績	ウ		実績	外部委託による実施		

実施計画 (令和3年度) ●前年度の実施内容を見直し、継続

振り返り

実施状況・時期 受検者数（被保険者） 229人
受検者数（被扶養者） 54人
受検率（被保険者） 10.5%
受検率（被扶養者） 4.6%

※決算額は人間ドック、婦人科検査、脳ドックの合算

成功・推進要因 特になし

課題及び阻害要因 受診率の向上（定期的に受診していただく工夫が必要）

評価 4. 80%以上

事業目標

脳疾患の早期発見

アウトプット指標 受診者数（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和3年度：300人/283人 【達成度】 94.3%）※目標値は対象者数をもとに毎年見直し[-]

アウトカム指標 本事業単独でのアウトカム測定が困難
(アウトカムは設定されていません)

9 事業名 巡回歯科検診（歯科保健事業）

健康課題との関連	<p><医療費から見える健康課題></p> <p>①当健保の一人当たり医療費は、概ね健保組合平均と同じ水準である。加齢とともに医療費は高額になり、特に50歳以上になると急激に医療費が増加する。</p> <p>②男女別に比較すると、概ね20～40歳代は女性が高額であり、50歳代以上は男性が高額になる。前者の理由は女性は比較的症状が軽いうちに多く医療機関にかかる一方で、男性は症状が重くなってから医療機関にかかることが想定される。</p> <p>③レセプト件数が0.4%程度の入院レセプトが、当健保の医療費全体の20%程度を占めている。</p>								
分類									
注1)事業分類	計画	3-エ,4-イ,4-ウ,4-エ,4-オ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	3-エ,4-イ,4-ウ,4-エ,4-オ		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 被保険者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 被保険者							
注2)プロセス分類	計画	イ,ウ,キ,ク	実施方法	計画	労働安全衛生法の法定健診（巡回健診）と一体的に実施 巡回生活習慣病予防健診，定期健康診断にあわせて全被保険者を対象に各事業所を巡回して実施		予算額	-千円	
	実績	イ,ウ,キ,ク		実績	労働安全衛生法の法定健診（巡回健診）と一体的に実施 巡回生活習慣病予防健診，定期健康診断にあわせて全被保険者を対象に各事業所を巡回して実施				
注3)ストラクチャー分類	計画	コ	実施体制	計画	外部委託による実施		決算額	9,970 千円	
	実績	コ		実績	労働安全衛生法の法定健診（巡回健診）と一体的に実施				
実施計画 (令和3年度)	●前年度の実施内容を見直し、継続								
振り返り	実施状況・時期		対象者数 2,799人 受検者数 2,266人 受検率 81.0%						
	成功・推進要因		法定健診とあわせて実施することで高い実施率となった						
	課題及び阻害要因		特に課題は認識していないが、全ての関係会社を含み受診機会の拡大が必要である。						

評価	4. 80%以上
事業目標	歯科疾患の早期発見及び医療機関受診勧奨、歯科口腔衛生の向上
アウトプット指標	受診者数（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和3年度：2,500人/2,266人 【達成度】 90.6%）※目標値は対象者数をもとに毎年見直し[-]
アウトカム指標	今後、歯科受診率や歯科口腔衛生に資するアウトカム（デンタルフロス利用率）等を測定（アウトカムは設定されていません）

10 事業名 **インフルエンザ予防接種補助（感染症予防事業）**

健康課題との関連

<疾病別医療費から見える健康課題>

①当健保の医療費が高額となる疾病は、「呼吸器疾患」「新生物」「循環器疾患」の順である。

- ・被保険者は「新生物」「循環器」「消化器」
- ・被扶養者は「呼吸器」「新生物」「筋骨格」

※なお、内分泌代謝疾患も高額であるが、少数の高額医療費の方によるものであることに留意する。

②年齢別では、0～19歳は「呼吸器」、20～39歳は「精神」40～59歳は「新生物」「循環器」、60歳～は「筋骨格」「循環器」「新生物」の医療費が高額である。

分類									
注1)事業分類	計画	3-カ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	3-カ		実績	1. 健保組合				

共同事業 共同事業ではない

事業の内容

対象者	計画	対象事業所 全て	性別 男女	年齢 18～74	対象者分類 被保険者
	実績	対象事業所 全て	性別 男女	年齢 18～74	対象者分類 被保険者

注2)プロセス分類	計画	コ,シ	実施方法	計画	インフルエンザ予防接種の費用補助	予算額	-千円
	実績	コ,シ		実績	インフルエンザ予防接種の費用補助		

注3)ストラクチャー分類	計画	コ	実施体制	計画	全医療機関での実施が可能	決算額	1,680 千円
	実績	コ		実績	全医療機関での実施が可能		

実施計画 (令和3年度)	●前年度の実施内容を見直し、継続
振り返り	実施状況・時期 対象者数 2,799人 受検者数 567人 受検率 20.3% 成功・推進要因 全ての医療機関を対象とし、利便性を拡大。 課題及び阻害要因 特に課題は認識していないが、毎年一定数の受診（補助）が必要と考えている。
評価	4. 80%以上

事業目標	インフルエンザの予防（プレゼンティーズム抑制を含む）
アウトプット指標	実施者数（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和3年度：700人/567人 【達成度】 81.0%）※目標値は対象者数をもとに毎年見直し[-]
アウトカム指標	本事業単独でのアウトカム測定が困難 (アウトカムは設定されていません)

11	事業名	福利厚生事業
----	-----	---------------

健康課題との関連	<生活習慣・改善意識から見える健康課題> ※当健保の被保険者の生活習慣は、健保組合平均と比較すると概ね良いが、一定数の悪い生活習慣保有率であるとともに、今後の50歳代の増加により、健康リスクが増加すると想定している。 ①定期的な運動習慣がない割合：男性73.2%、女性86.8% ②就寝前に夕食をとる割合：男性25.6%、女性19.0% ③毎日飲酒する割合：男性32.7%、女性12.0% ④睡眠不足の割合：男性29.8%、女性43.4% ⑤喫煙の割合：男性24.7%、女性10.7% ⑥改善意欲がない割合：男性19.6%、女性15.3%
----------	--

分類	
----	--

注1)事業分類	計画	5-ア	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	直営保養所	新規・既存区分	既存
	実績	5-ア		実績	1. 健保組合				

共同事業	共同事業ではない
------	----------

事業の内容	
-------	--

対象者	計画	対象事業所 全て	性別 男女	年齢 0～74	対象者分類 加入者全員
	実績	対象事業所 全て	性別 男女	年齢 0～74	対象者分類 加入者全員

注2)プロセス分類	計画	実施方法	計画	予算額	-千円
	実績		実績		
注3)ストラクチャー分類	計画	実施体制	計画	決算額	3,701千円
	実績		実績		

実施計画 (令和3年度) ●前年度の実施内容を見直し、継続

振り返り
実施状況・時期 委託業者との契約一部見直し、費用を削減した。
成功・推進要因 特になし
課題及び阻害要因 利用者のかたより、利用率の低迷

評価 1. 39%以下

事業目標

福利厚生

アウトプット指標 利用者数（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和3年度：1,000人/0人 【達成度】 0.0%）※目標値は対象者数をもとに毎年見直し[-]
アウトカム指標 本事業単独でのアウトカム測定が困難 (アウトカムは設定されていません)

12 事業名 糖尿病性腎症の重症化予防支援・医療機関の受診勧奨支援

健康課題との関連 <高リスク保有者から見える健康課題>
 ①血糖・血圧・脂質の3つの受診勧奨判定値以上の健康リスクを保有しているにもかかわらず医療機関を受診していない方が存在する。
 ・肥満（83人、うち22人が喫煙者）
 ・非肥満（42人、うち14人が喫煙者）

分類

注1)事業分類	計画	3-ア,3-イ,4-オ,4-カ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	(予算措置なし)	新規・既存区分	新規
	実績	3-ア,3-イ,4-オ,4-カ		実績	1. 健保組合				

共同事業 共同事業ではない

事業の内容

対象者 計画 **対象事業所** 全て **性別** 男女 **年齢** 18～74 **対象者分類** 基準該当者

	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 基準該当者					
注2)プロセス分類	計画	イ,エ,オ,カ,キ,ク	実施方法	計画	①HbA1c等で一定の基準値を設け、対象者を選定 ②産業医判定基準を設け、対象者に受診勧奨を実施。健保では、当該対象者の受診履歴をレセプトから確認を実施。	予算額	-千円
	実績	イ,エ,オ,カ,キ,ク		実績	①HbA1c等で一定の基準値を設け、対象者を選定 ②産業医判定基準を設け、対象者に受診勧奨を実施。健保では、当該対象者の受診履歴をレセプトから確認を実施。		
注3)ストラクチャー分類	計画	エ,ク	実施体制	計画	①厚労省の補助金交付の対象である糖尿病性腎症重症化予防事業を実施（外部委託による実施） ②健康管理室が実施する定期健診後措置にて実施。健保ではその後の受診確認を実施。	決算額	441千円
	実績	エ,ク		実績	①厚労省の補助金交付の対象である糖尿病性腎症重症化予防事業を実施（外部委託による実施） ②健康管理室が実施する定期健診後措置にて実施。健保ではその後の受診確認を実施。		
実施計画 (令和3年度)	●経産省モデル事業参加						
振り返り	実施状況・時期		①外部委託による実施 ②母体事業主健康管理室と連携した受診勧奨・受信確認を実施し、月1回開催される健康管理事業推進委員会にて状況を共有				
	成功・推進要因		①特になし ②定期的な受診状況の確認				
	課題及び阻害要因		①特になし ②未受診者への再勧奨を実施できていない。				
評価	5. 100%						
事業目標							
人工透析、脳血管疾患、虚血性心疾患の重症化予防							
アウトプット指標 実施者数（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和3年度：5人/0人 【達成度】 100%） -[-]							
アウトカム指標 体重減少者率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和3年度：50%/60% 【達成度】 120.0%） 体重減少者数/参加者数（%） ※体重減少者＝初回面談時より指導評価時の体重が減少した方[-]							

13 事業名 **健康管理室による支援（産業保健との連携）**

健康課題との関連	<p><健康課題と保健事業></p> <p>①加入者全員に対応した保健事業 (ポピュレーションアプローチ)</p> <p>②健康リスクに対応した保健事業 (ハイリスクアプローチ)</p> <p>を組み合わせ、全員に支援が行き届く保健事業を実施。 その際に、事業主(人事、産業医、健康管理室)及び 従業員代表(労組)と強力に連携し、オールアドバン テストのコラボヘルスを推進。</p>							
分類								
注1)事業分類	計画 2,3-オ,5-イ,5-ウ,5-エ,5 -オ,5-キ	実施主体	計画 2. 事業主が主体で保健事業の一部と しても活用	予算科目	(予算措置なし)	新規・既存区分	既存	
	実績 2,3-オ,5-イ,5-ウ,5-エ ,5-オ,5-キ		実績 2. 事業主が主体で保健事業の一部と しても活用					
共同事業	共同事業ではない							
事業の内容								
対象者	計画 対象事業所 母体企業 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 被保険者							
	実績 対象事業所 母体企業 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 被保険者							
注2)プロセス分類	計画 イ,オ,シ	実施方法	計画 -	予算額	-千円			
	実績 イ,オ,シ		実績 被保険者のデータ分析結果等の共有					
注3)ストラクチャー分類	計画 ア,イ	実施体制	計画 健康管理室が実施する支援 ・メンタルヘルス ・定期健診後措置 ・健康相談 ・健康教育 ・健康増進事業 等	決算額	0千円			
	実績 ア,イ		実績 健康管理室が実施する支援 ・メンタルヘルス ・定期健診後措置 ・健康相談 ・健康教育 ・健康増進事業 等					
実施計画 (令和3年度)	<p>●健康管理室が実施する支援 ・メンタルヘルス ・定期健診後措置 ・健康相談 ・健康教育 ・健康増進事業 等</p> <p>●健保組合と役割分担の上効率的なコラボヘルスを実施</p>							

振り返り	実施状況・時期	<ul style="list-style-type: none"> ・健診で要治療となった者に対する受診確認を実施 ・事業主が実施する退職者セミナーにおいて退職後の健康づくりの重要性を伝えるリーフレットを配布 ・運動事業（散歩コース案内・運動設備・セミナー実施） ・食堂メニュー改善（新作メニュー検討に健保担当者も参加） ・メンタル対策（専門職健康相談・不調者対応） ・事業主の喫煙対策（完全分煙・時間分煙の実施）
	成功・推進要因	健康管理事業推進委員会での役割分担および進捗確認により、定期的な受診状況の確認の場を設けられた
	課題及び阻害要因	定期的に推進状況を確認し、参加者等を増やしていく取り組みが必要

評価	5. 100%
----	---------

事業目標

健康管理室が実施する支援
 ・メンタルヘルス ・定期健診後措置 ・健康相談 ・健康教育 ・健康増進事業 等

アウトプット指標 実施事業数（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和3年度：5件/5件 【達成度】 100.0%）健保組合と具体的な役割分担を実施する事業数[-]

アウトカム指標 事業主が測定
 (アウトカムは設定されていません)

14 事業名 若年肥満者等に対する疾病予防支援

健康課題との関連
 <高額医療費から見える健康課題>
 ①60歳代（前期高齢者及びその前の世代）で医療費が高額になる疾病のうち、対策可能と言われているものは「虚血性心疾患（心筋梗塞・狭心症）」「高血圧症」であり、いずれも「循環器」に含まれる。また、「糖尿病」は「内分泌代謝」に含まれるが、受診率が「高血圧症」の次に高い。

分類

注1)事業分類	計画	4-ク	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	新規
	実績	4-ク		実績	1. 健保組合				

共同事業 共同事業ではない

事業の内容

対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～（上限なし） 対象者分類 加入者全員
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～（上限なし） 対象者分類 加入者全員

注2)プロセス分類	計画	ク	実施方法	計画	ICTを活用した食事指導プログラムの実施	予算額	-千円
-----------	----	---	------	----	----------------------	-----	-----

	実績 ク		実績 ICTを活用した食事指導プログラムの実施		
注3)ストラクチャー分類	計画 ウ,ケ,コ	実施体制	計画 厚労省助成 外部委託	決算額	3,005 千円
	実績 ウ,ケ,コ		実績 厚労省助成 外部委託		

実施計画 (令和3年度) ●特定保健指導該当に相当するリスクを保有する若年層に対して、食生活改善を支援する

振り返り	実施状況・時期	オンライン食事指導 ※厚労省補助金事業での実施であるため、健保の費用負担なし
	成功・推進要因	・積極的な案内周知を実施 ・製造業(工場勤務者・研究所勤務者)に向けたアドバイスも実施(食事の時間帯や社員食堂の利用も考慮したもの)
	課題及び阻害要因	本来期待した若年層に対しての対象者が少ないこと

評価 5. 100%

事業目標

- 「特定保健指導該当者減少率」を増加傾向にする
- 40歳到達時点で特定保健指導非該当となることを目指す

アウトプット指標	事業参加者数（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和3年度：60人/65人 【達成度】 108.3%） -[-]
アウトカム指標	体重減少率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和3年度：50%/69% 【達成度】 138.0%） 体重減少率＝体重減少者／事業参加者数[-]

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ. 受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ. ICTの活用(情報作成又は情報提供でのICT活用など)
オ. 専門職による対面での健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施 ク. 対象者の抽出(優先順位づけ、事業所の選定など)
ケ. 参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 シ. 事業主と健康課題を共有 ス. その他

注3) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 専門職との連携体制の構築(産業医・産業保健師を除く) エ. 他の保険者との共同事業 オ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 カ. 自治体との連携体制の構築
キ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 ク. 保険者協議会との連携体制の構築 ケ. その他の団体との連携体制の構築 コ. 就業時間内も実施可(事業主と合意) サ. 運営マニュアルの整備(業務フローの整理)
シ. 人材確保・教育(ケースカンファレンス/ライブラリーの設置) ス. その他